SONY

3-273-384-**02** (1)

DVD ライター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DVDirect™

VRD-MC5

©2007 Sony Corporation

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

118 ページの注意事項をよくお読みください。

↓

定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

↓

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

↓

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

➡

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

指のケガに注意　火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

必ずお読みください

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で外部メディアなどに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で外部メディアの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

著作権に関するご注意

あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオ機器を接続して番組を録画する場合、番組にコピー制御信号が含まれている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

AC アダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

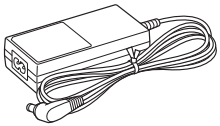
- DVDirect、ハンディカム、サイバーショット、メモリースティック、そしてそれぞれのロゴマークは、弊社の商標あるいは登録商標です。「プレイステーション」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。
- 本製品は、ドルビーラボラトリーズ社とのライセンス契約に基づき、製造されています。Dolby とダブル D のシンボルマークは、ドルビーラボラトリーズ社の商標です。
- 本製品には、著作権者（イーソル株式会社）とのライセンス契約に基づき、その著作権者のソフトウェアが使用されています。

同梱品を確かめる

箱を開けたら、DVDirect と以下の付属品が揃っているか確認してください。万一不足の場合は、お買い上げ店へご相談ください。

- DVDirect

- AC アダプター



- 電源コード
- 取扱説明書（本書）
- かんたん操作ガイド
- 保証書
- お客様ご相談窓口の案内

目次

必ずお読みください 3

同梱品を確かめる 3

はじめに

本機の特長 6

AVCHD ダビング 6

ビデオ DVD を作成する 6

フォト DVD を作成する 6

ダビング早見チャート
ーかんたん DVD ダビングー 8

この取扱説明書について 7

各部の名称とはたらき 14

本機の操作について 18

“ハンディカム”の[ワンタッチディスク]ボタンを操作する(ワンタッチダビング) 18

ナビゲーションディスプレイを使う 18

メニュー画面を使う 20

電源を入れる 21

ディスクを挿入する 22

メモリーカードを挿入する 24

ビデオ DVD を作成する

ビデオ DVD や AVCHD ディスクを作成する 25

ダビングの種類 25

作成できるディスクについて
ービデオ DVD と AVCHD ディスクー 29

デジタルビデオカメラ /
ビデオ機器、録画画質と接続端子について 31

使用できるディスク 33

作成したビデオ DVD と AVCHD ディスクについて 35

**“ハンディカム”(HDD/ メモリースティック)のビデオをダビングする
ーワンタッチダビングー 37**

“ハンディカム”(HDD)からビデオをダビングするーダビング方法を選ぶー 40

ダビングモードを選ぶ前に 40

まるごとダビング 44

つづきダビング 46

プレイリストダビング 48

映像選択ダビング 49

**“ハンディカム”(メモリースティック)からビデオをダビングする
ーダビング方法を選ぶー 51**

ダビングモードを選ぶ前に 51

まるごとダビング 55

つづきダビング 56

プレイリストダビング 58

映像選択ダビング 59

“ハンディカム”(DVD)からビデオをダビングする 62

ダビングモードを選ぶ前に 62

まるごとダビング 65

ひとまとめダビング 66

“ハンディカム”(DV/D8)や DV 方式デジタルビデオカメラからビデオをダビングする 68

ダビングモードを選ぶ前に 68

まるごとダビング 70

マニュアルダビング 72

ビデオ機器をつないでダビングする 74

フォト DVD を作成する

フォト DVD を作る 79

ダビングの種類 79

作成できるディスクについて - フォト DVD の種類 80

対応するメモリーカードと端子類について 81

使用できるディスク 82

作成したフォト DVD について 82

メモリーカードや“ハンディカム”から写真をダビングする 84

ファイナライズする / プレビューする

作成したディスクを取り出す（ディスクをファイナライズする） 90

ファイナライズとは？ 92

作成したビデオ DVD やフォト DVD をプレビューする 94

設定

設定メニューを使う 97

録画画質 98

自動停止タイマー 98

自動チャプター 99

DVD メニュー 99

スライドショーBGM 100

スライドショー作成 100

ファイナライズ 101

ディスクの消去 103

システム情報 104

デモ 104

カラーシステム 104

言語（Language） 104

その他

故障かな？と思ったら 105

こんなときは 105

電源について 105

接続と操作について 105

再生について 106

画面のメッセージについて 107

ディスクについて 109

使用できるディスク 109

メモリーカードについて 111

“メモリースティック”について 111

SD カード /xD- ピクチャーカード / コンパクトフラッシュについて 113

使用上のご注意 114

主な仕様 115

保証書とアフターサービス 117

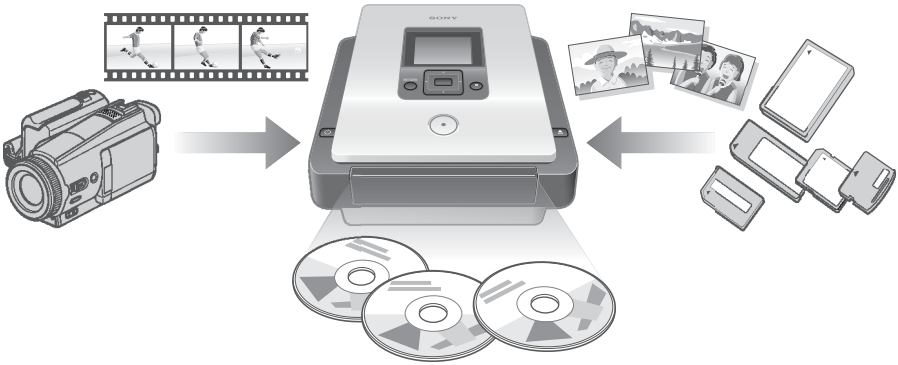
保証書 117

アフターサービス 117

索引 120

本機の特長

本機を使用すれば、誰でもかんたんにビデオや写真を DVD へダビングできます。パソコンは必要ありません。



AVCHD ダビング

ソニーハイビジョン“ハンディカム”（HDD/ メモリースティック）で撮影したハイビジョン映像をそのままの画質で DVD にダビングすることができます。（AVCHD ディスクの再生互換性については 30 ページを必ずお読みください。）

ビデオ DVD を作成する

- デジタルビデオカメラやビデオ機器と本機を直接接続し、パソコンを使わずに映像を DVD にダビングすることができます。
- ソニー“ハンディカム”（HDD/DVD/ メモリースティック /DV/ Digital8）、または DV 方式のデジタルビデオカメラで撮影した映像を、ボタンひとつで DVD にダビングすることができます。

フォト DVD を作成する

- メモリーカードや本機に接続したソニー“ハンディカム”（HDD/ DVD/ メモリースティック）から、パソコンを使わずに写真を DVD にダビングすることができます。
- 写真をダビングしてスライドショー DVD を作成することもできます。

この取扱説明書について

本機では、接続する機器の種類やダビングする映像の種類（ハイビジョン画質またはスタンダード画質）に応じて、以下のような操作をすることができます。取扱説明書（本書）では、それらの種類に応じて、各章の始めにマークを載せ、わかりやすく説明しています。マークの説明については、以下の表の通りです。

マーク	接続機器／画質　説明
HDD CAM	ハードディスクに映像を記録するソニー製デジタルビデオカメラ（ソニー“ハンディカム”（HDD））
MS CAM	“メモリースティック”に映像を記録するソニー製デジタルビデオカメラ（ソニー“ハンディカム”（メモリースティック））
DVD CAM	8cmDVD に映像を記録するソニー製デジタルビデオカメラ（ソニー“ハンディカム”（DVD））
DV CAM	DV テープや 8mm テープ（Digital8 方式）に映像を記録するソニー製および他社製 DV 方式デジタルビデオカメラ
Video Device	各種ビデオカメラやビデオ機器
Memory Card	“メモリースティック”、“メモリースティックデュオ”、SD カード、xD-ピクチャーカード、コンパクトフラッシュ
SD Video	スタンダード画質で撮影された動画
HD Video	ハイビジョン画質（AVCHD 規格）で撮影された動画
Photo	デジタルスチルカメラやソニー“ハンディカム”（HDD/DVD/ メモリースティック）で撮影した静止画（JPEG 規格）

本書で「“ハンディカム”」とは、ソニー製ビデオカメラのことです。特に、ハイビジョン画質（AVCHD 規格）での撮影に対応したソニー製デジタルビデオカメラのことをさす場合は、「ハイビジョン“ハンディカム”」とあらわします。
詳細は、31 ページと 81 ページを参照ください。

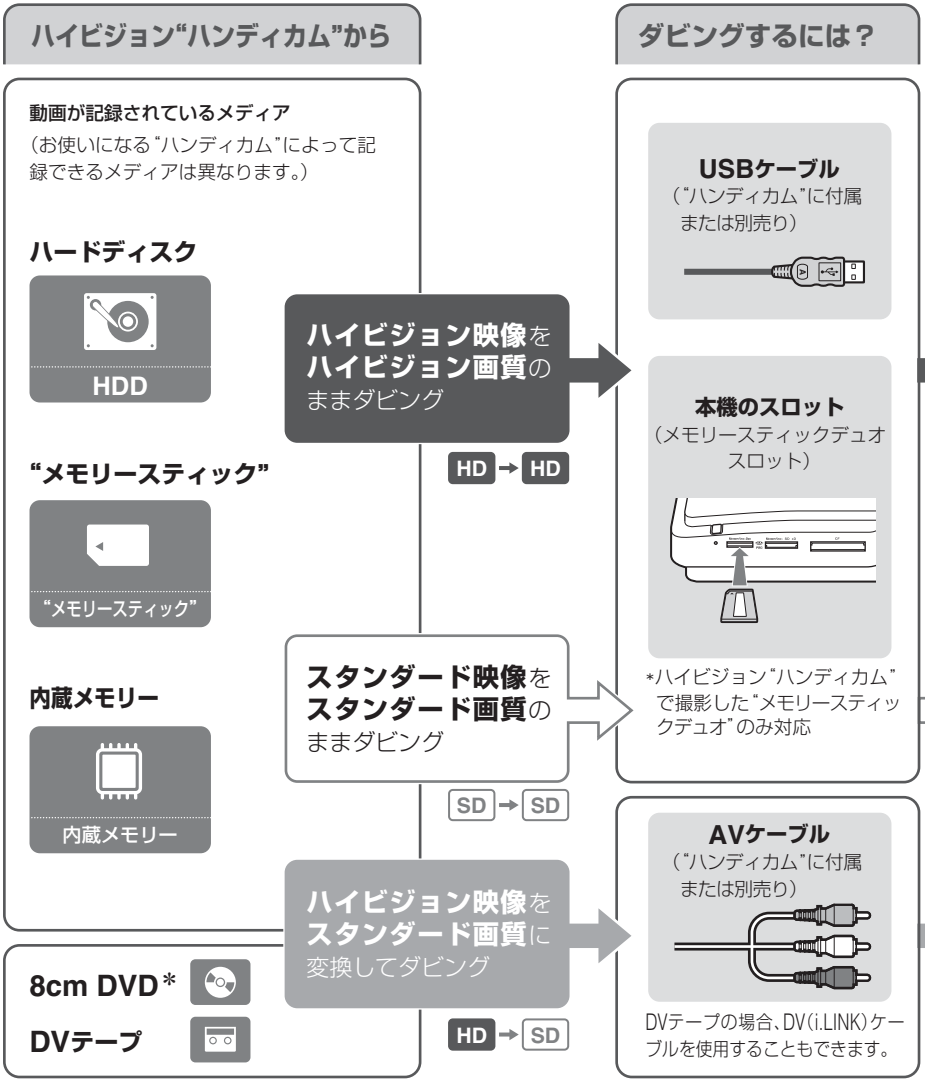
本書記載の画面表示は実際の画面と異なる場合があります。

ハイブリッド“ハンディカム”をお使いの場合

ハイブリッド“ハンディカム”のハードディスクや内蔵メモリーに記録された映像は HDD CAM と同じ扱いに、“メモリースティック”に記録された映像は MS CAM と同じ扱いに、また 8cmDVD に記録された映像は DVD CAM と同じ扱いになります。

ダビング早見チャート ーかんたんDVDダビングー

お使いになる機器により、作成するディスクの画質やダビングに必要なケーブルが異なります。お持ちのビデオカメラの種類を選び、次にダビングの種類を選んで該当の章に進んでください。ハイビジョン画質とスタンダード画質について、詳しくは「作成できるディスクについてービデオ DVD と AVCHD ディスクー」（29 ページ）をご覧ください。



＊8cmDVD からスタンダード映像をスタンダード画質のままダビングすることもできます。USB ケーブルを用いてまるごとダビング（65 ページ）、ひとまとめダビング（66 ページ）ができます。

HD お持ちのビデオカメラが ハイビジョン“ハンディカム”のかた

対応ダビング機能

ダビング方法を選んでスタート！

ワンタッチダビング（37 ページ）
“ハンディカム”のワンタッチボタンを押すだけでかんたんダビング

まるごとダビング（40、44 ページ）
本機の録画ボタンを押すだけで、映像をまるごとダビング

つづきダビング（40、46 ページ）
新しく撮った映像だけをダビング

プレイリストダビング（40、48 ページ）
“ハンディカム”のプレイリストの映像をダビング

映像選択ダビング（40、49 ページ）
シーンや撮影日を選択してダビング

● **本機のスロットへ”メモリースティックデュオ”を挿入してダビングする場合は、「”ハンディカム”（メモリースティック）からビデオをダビングする」をご覧ください。**

まるごとダビング 51、55 ページ
つづきダビング 51、56 ページ
プレイリストダビング 51、58 ページ
映像選択ダビング 51、59 ページ

マニュアルダビング（74 ページ）
“ハンディカム”の再生画像を見ながら手動でダビング

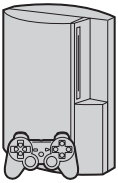
● **DV テープのビデオカメラを DV（i.LINK）ケーブルで接続した場合、まるごとダビング（70 ページ）ができます。**

作成したDVDを見る

AVCHD対応機器（例）

ブルーレイディスク レコーダー／プレーヤー

“プレイステーション3”

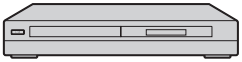


* ハイビジョン画質で記録された DVD は、DVD プレーヤー / レコーダーでは再生できません。詳しくは、「AVCHD ディスクの再生互換性について」（30 ページ）をご覧ください。

HD

さまざまなDVD機器（例）

DVDプレーヤー／レコーダー



ポータブルDVDプレーヤー

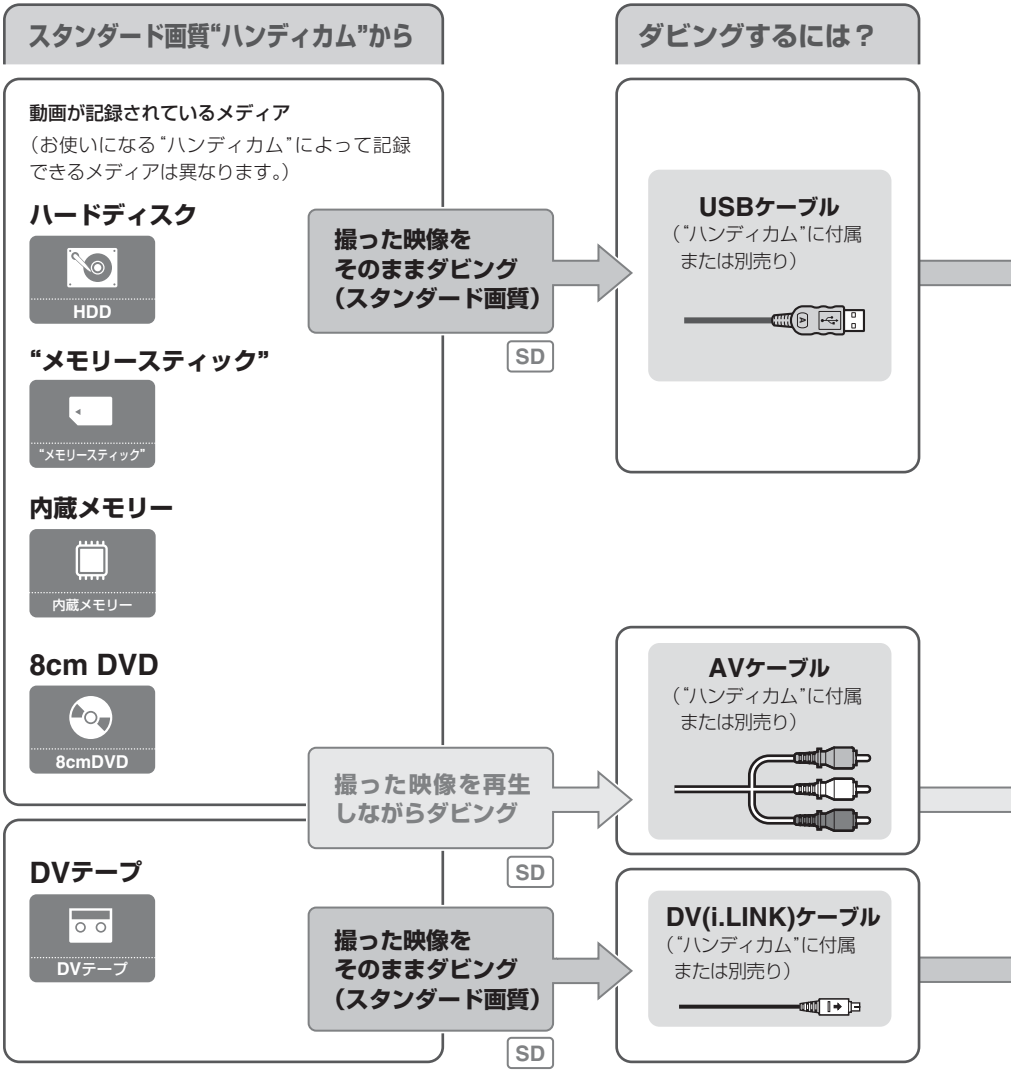
パソコン

SD

SD

スタンダード画質の“ハンディカム”をお持ちの方は次ページへ

ダビング早見チャート ーかんたんDVDダビングー



8mm ビデオカメラや VHS デッキなど、各種ビデオ機器からのダビングについては 74 ページをご覧ください。

SD お持ちのビデオカメラがスタンダード画質の“ハンディカム”のかた

対応ダビング機能

ダビング方法を選んでスタート！

●ハードディスクの場合

ワンタッチダビング（37 ページ）
“ハンディカム”のワンタッチボタンを押すだけでかんたんダビング

まるごとダビング（40、44 ページ）
本機の録画ボタンを押すだけで、映像をまるごとダビング

つづきダビング（40、46 ページ）
新しく撮った映像だけをダビング

プレイリストダビング（40、48 ページ）
“ハンディカム”のプレイリストの映像をダビング

映像選択ダビング（40、49 ページ）
シーンや撮影日を選択してダビング

●8cmDVDの場合

まるごとダビング（62、65 ページ）
本機の録画ボタンを押すだけで、映像をまるごとダビング

ひとまとめダビング（62、66 ページ）
8cmディスクの映像を12cmディスクにひとまとめ

マニュアルダビング（74 ページ）
”ハンディカム”の再生画像をみながら、手動でダビング

まるごとダビング（68、70 ページ）
本機の録画ボタンを押すだけで、映像をまるごとダビング

マニュアルダビング（68、72 ページ）
“ハンディカム”の操作を手動で行いながらダビング

SD

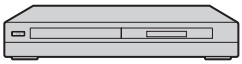
SD

SD

作成したDVDを見る

さまざまなDVD機器
（例）

DVDプレーヤー／レコーダー



ポータブルDVDプレーヤー

パソコン

ダビング早見チャート ーかんたんDVDダビングー

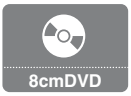
写真をダビング

写真が記録されているメディア
（お使いになる"ハンディカム"によって記録できるメディアは異なります。）

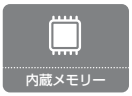
ハードディスク

"メモリースティック"

8cm DVD



内蔵メモリー



撮った写真をダビング

ダビングするには？

USBケーブル
（"ハンディカム"に付属または別売り）

"メモリースティックデュオ"

"メモリースティック"

SDカード

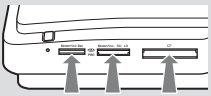
xD-ピクチャーカード

コンパクトフラッシュ

各種メモリーカード

撮った写真をダビング

本機のスロット



*メモリーカードに合ったスロットへ挿入して下さい

お持ちのビデオカメラやメモリーカードから

写真をダビング

対応ダビング機能

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング（84、85 ページ）

本機の録画ボタンを押すだけで、映像をまるごとダビング

写真選択ダビング（84、86 ページ）

シーンや撮影日を選択してダビング

ダビング方法を選んでスタート！

まるごとダビング（84、85 ページ）

本機の録画ボタンを押すだけで、映像をまるごとダビング

写真選択ダビング（84、86 ページ）

シーンや撮影日を選択してダビング

作成したDVDを見る

フォトバックアップDVD

デジタルスティルカメラや"ハンディカム"で撮影した写真を保存したDVDを見る

（例）

パソコン

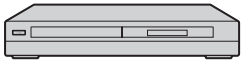
JPEG再生対応の
DVDプレーヤー

スライドショーDVD

写真をもとに作られた映像を記録したDVDを見る

（例）

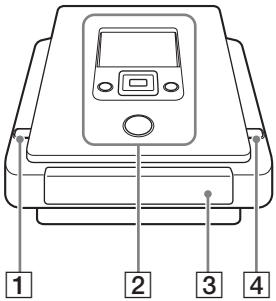
パソコン

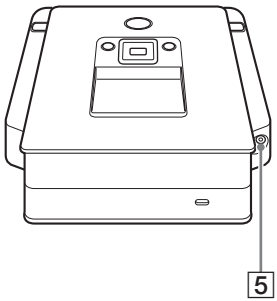


DVDプレーヤー／
レコーダー

各部の名称とはたらき

前面と後面





1 ⏻(電源)ボタン

本機の電源を入 / 切します。

2 操作パネル

本機を操作するためのボタンとディスプレイがあります。

3 ディスクトレイ

ラベル面を上にしてディスクを挿入します。

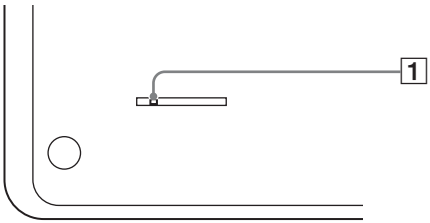
4 ⏏(開 / 閉)ボタン

ディスクトレイを開閉します。

5 DC IN(電源入力)端子

付属の AC アダプターを接続します。

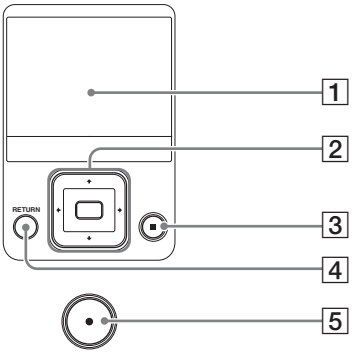
底面



1 緊急取り出しレバー

本体を裏返しに置き、細い棒状の物でレバーをスライドさせてください。

操作パネル



1 ディスプレイ

メニュー画面、再生機器からの映像、メモリーカードの写真などを表示します。

2 ↑↓←→/□（選択）ボタン

機能を選びます。

3 ⊙（停止）ボタン

録画を停止します。

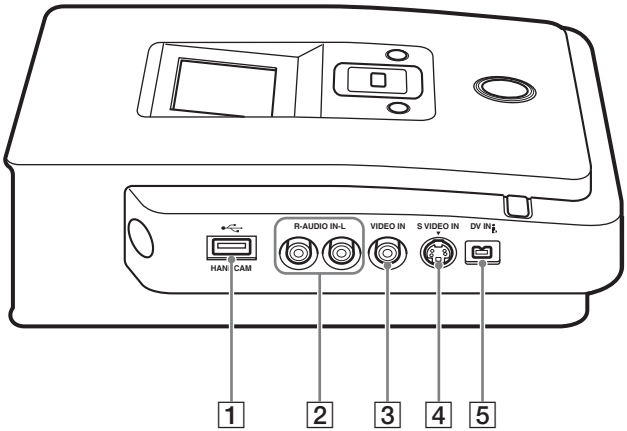
4 RETURN（メニュー/戻る）ボタン

メニュー画面に戻るときや、メッセージが表示されているときに前画面へ戻るときなどに使います。

5 ⊙（録画）ボタン

録画を始めます。
録画中は、赤く点灯します。

左側



1 USB 端子(タイプ A)

対応する“ハンディカム”を USB ケーブルで接続します。

2 AUDIO IN(音声入力)端子

本機にデジタルビデオカメラやビデオレコーダーのような映像機器を接続するとき、映像 / 音声ケーブル(別売り)の音声プラグを接続します。

3 VIDEO IN(映像入力)端子

本機にビデオカメラやビデオレコーダーのような映像機器を接続するとき、映像 / 音声ケーブル(別売り)の映像プラグを接続します。

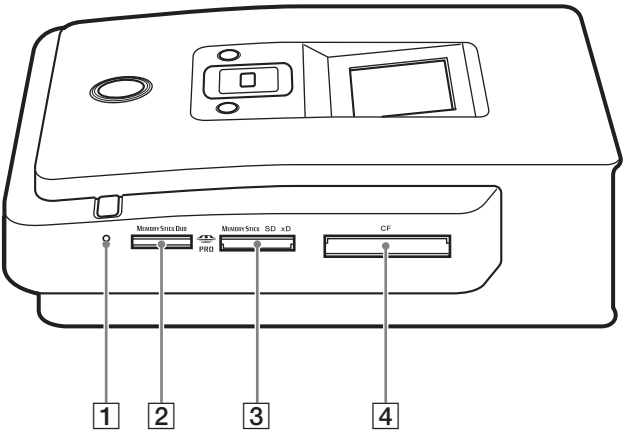
4 S VIDEO IN(S 映像入力)端子

本機にビデオカメラやビデオレコーダーのような映像機器を接続するとき、S 映像ケーブル(別売り)を接続します。

5 DV IN(DV 入力)端子

本機に DV 方式デジタルビデオカメラを接続するとき、DV(i.LINK)ケーブル(別売り)を接続します。

右側



1 メモリーカードランプ

メモリーカードを読み込んでいるときにオレンジ色に点灯します。

2 メモリースティックデュオスロット

“メモリースティックデュオ”を挿入します。

3 マルチカードスロット

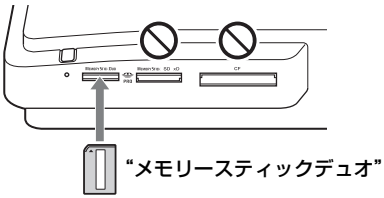
“メモリースティック”や、SD カード、xD- ピクチャーカードを挿入します。

4 コンパクトフラッシュカードスロット

コンパクトフラッシュカードを挿入します。

ご注意

“メモリースティックデュオ”と“メモリースティック”の挿入口は異なります。“メモリースティックデュオ”はメモリースティックデュオスロット（2）へ、“メモリースティック”はマルチカードスロット（3）へ挿入してください。“メモリースティックデュオ”をマルチカードスロットへ挿入すると、取り出せなくなります。

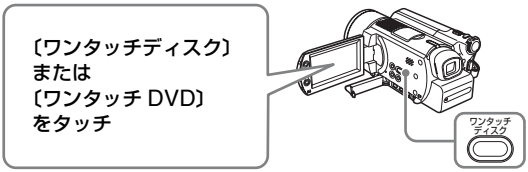


本機の操作について

本機と接続した“ハンディカム”のボタンを押すだけで、かんたんにダビングしたり、本機のディスプレイに表示されるメッセージに従ってダビングしたりできます。メニュー画面を操作してダビングすることもできます。

“ハンディカム”の[ワンタッチディスク]ボタンを操作する(ワンタッチダビング)

本機と“ハンディカム”をUSBケーブルで接続し、“ハンディカム”の液晶画面に表示された［ワンタッチディスク］をタッチ、または“ハンディカム”やハンディカムステーションの［ワンタッチディスク］ボタンを押すだけで、かんたんに映像をダビングできます (37ページ)。



ナビゲーションディスプレイを使う

本機の電源を入れると、挿入したメモリーカードやディスク、接続した機器からの入力信号を自動的に検出します。そして、録画までの手順を示すメッセージがディスプレイに表示されます。このメッセージに従って操作すれば、かんたんに録画の準備を進めることができます。

ナビゲーションディスプレイとダビングできる映像について

ナビゲーションディスプレイに従って操作を行うとき、“ハンディカム”や“メモリースティックデュオ”に複数の映像（種類）が保存されている場合、ダビングできる映像は以下のようになります。

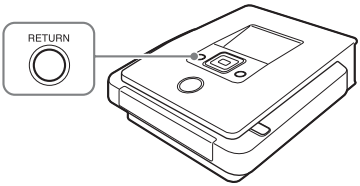
複数の映像（種類）が保存されている場合

“ハンディカム”/“メモリースティックデュオ”に保存されている映像の種類				ナビゲーションディスプレイでダビングできる映像・写真
HD Video	SD Video	Photo	→	HD Video *1*2
HD Video	SD Video		→	HD Video *1
HD Video		Photo	→	HD Video *2
	SD Video	Photo	→	SD Video *2

*1SD 画質の映像をダビングしたい場合は、メニュー画面の「ビデオ ➡DVD」から操作できます。
*2写真をダビングしたい場合は、メニュー画面の「写真 ➡DVD」から操作できます。

メニュー画面を使う

メニュー画面では、ダビングや本機の設定など、目的の操作を選択することができます。メニュー画面を表示させるには、RETURN ボタンを押します。（録画中や一部の操作画面からは、メニュー画面を表示できません）。



⬆/⬇ で目的の操作を選択し、▭（選択）ボタンを押します。

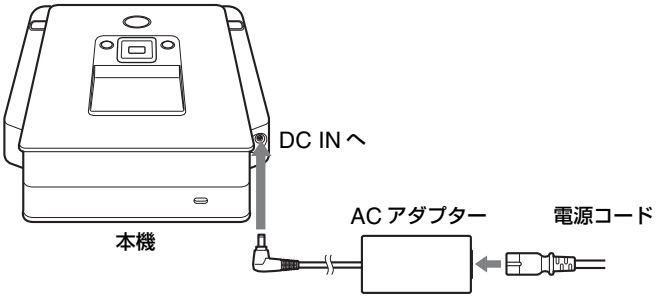
メニュー	機能
ビデオ ➡ DVD	スタンダード画質の映像をダビングし、ビデオ DVD を作ります。
写真 ➡ DVD	写真をダビングし、フォト DVD を作ります。
DVD プレビュー	作成した DVD を再生します。
AVCHD ダビング	ハイビジョン画質の映像をダビングして、AVCHD ディスクを作ります。
設定	さまざまな設定をします。

電源を入れる

1 付属の電源コードを AC アダプターに接続する。

2 本機の DC IN 端子に AC アダプターの電源プラグを挿入する。

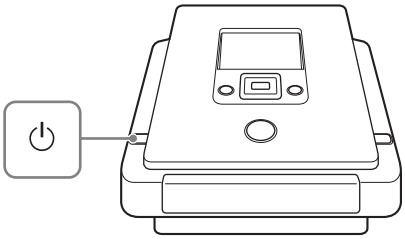
3 電源コードをコンセントに接続する。



ご注意

- 付属の電源コードと AC アダプターをお使いください。
- 破損しているコードは使わないでください。

4 ⏻(電源)ボタンを押す。



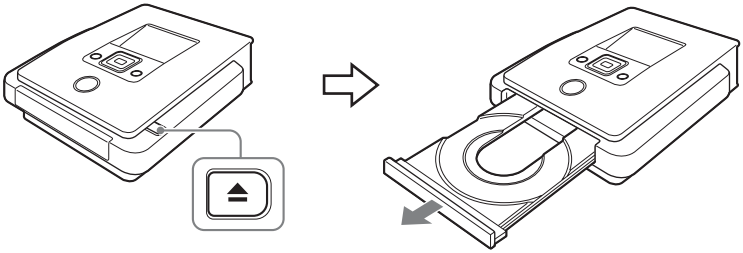
ディスプレイが明るくなり、DVDirect のロゴが表示されてから、本機の状態に応じた画面が表示されます。詳しくは、18 ページの「ナビゲーションディスプレイを使う」をご覧ください。また、RETURN ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。詳しくは、20 ページの「メニュー画面を使う」をご覧ください。

ディスクを挿入する

次の手順に従ってディスクを挿入してください。

1 ⏏(開 / 閉)ボタンを押す。

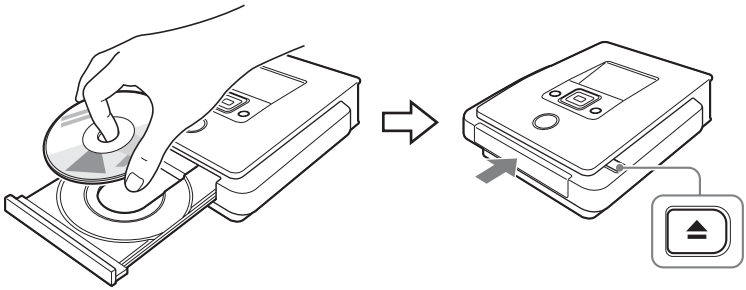
ディスクトレイが開きます。



2 ラベル面を上にしたディスクを、ディスクトレイに置き、もう一度 ⏏(開 / 閉)ボタンを押す。

ご注意

ディスクの録画面には触れないでください。



ディスクトレイが閉まり、挿入されたディスクの読み込みを開始します。

新しいディスクを挿入したときには

VIDEO IN 端子、S VIDEO IN 端子、または DV IN 端子にビデオ機器を接続してマニュアルダビング（72、74 ページ）を行う場合、新しいディスクを入れて操作を始めると、以下の画面が表示されます。

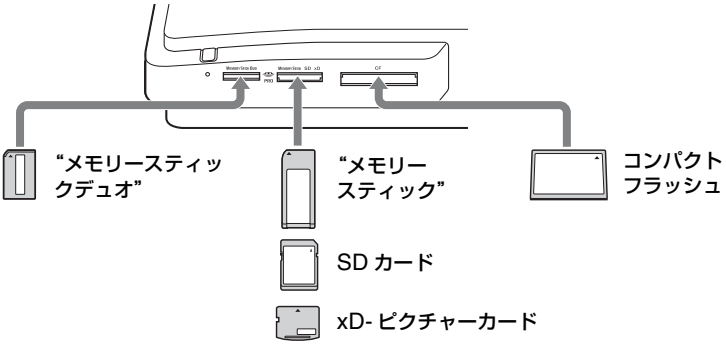
録画を行うには、「OK」を選択してディスクをフォーマット（初期化）してください。フォーマットには数 10 秒かかります。
他の録画操作では、ダビングの種類に応じて自動的にフォーマットされます。
フォーマット（初期化）とは、ディスクへの録画の前に必要な処理です。

ヒント

この画面でフォーマットしたディスクは、VIDEO IN 端子、S VIDEO IN 端子、または DV IN 端子に接続したビデオ機器からの録画のみに使用できます。DVD+RW、DVD-RW ディスクをこの画面でフォーマットした場合は、ディスクの消去（103 ページ）を行えば、AVCHD ダビングなど他の録画に使用できるようになります。

メモリーカードを挿入する

次の図に従ってカードを挿入してください。

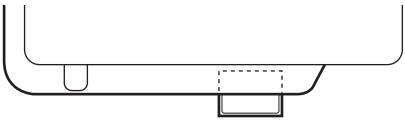


“メモリースティックデュオ”、“メモリースティック”、SD カード、xD- ピクチャーカード

メモリーカードをカチッという音がするまで挿入口へ押し込んでください。取り出すときには、カードを押してから引き出してください。

コンパクトフラッシュ

コンパクトフラッシュを挿入口に押し込んでください。取り出すときには、コンパクトフラッシュを引き出してください。コンパクトフラッシュは、半分まで挿入された状態となります。



ご注意

- メモリーカードスロットには 1 枚のカードしか挿入できません。また、同時に複数の挿入口を使うこともできません。
- 録画中に、他のメモリーカードを挿入しないでください。正しく録画されないことがあります。
- メモリーカードスロットへメモリースティックデュオアダプターをつけた“メモリースティックデュオ” を挿入しないでください。
- 録画中や、メモリーカードランプが点灯している間、メモリーカードは取り出さないでください。取り出した場合、メモリーカードのデータが破損することがあります。

ビデオ DVD や AVCHD ディスクを作成する

本機を使って、お手持ちのデジタルビデオカメラやビデオ機器から、かんたんにビデオを DVD に録画することができます。また、ハイビジョン“ハンディカム”で撮影したハイビジョン画質の映像（AVCHD 規格）をそのままの画質で DVD にダビングすることができます。
お使いのデジタルビデオカメラやディスクの用途にあわせて、以下の中から方法を選び、ダビングしてください。

ダビングの種類

使用するデジタルビデオカメラに応じて、いろいろなダビング方法が利用できます。

ワンタッチダビング
(“ハンディカム”のボタン操作でワンタッチダビング)(37 ページ)

HDD CAM　MS CAM

本機と接続した“ハンディカム”（HDD/ メモリースティック）の〔ワンタッチ DVD〕または〔ワンタッチディスク〕ボタンを押すだけでかんたんに映像を DVD へダビングできます。
つづきダビングと同様に、すでにディスクにコピーした映像は録画されず、新たに撮影された映像のみダビングします。

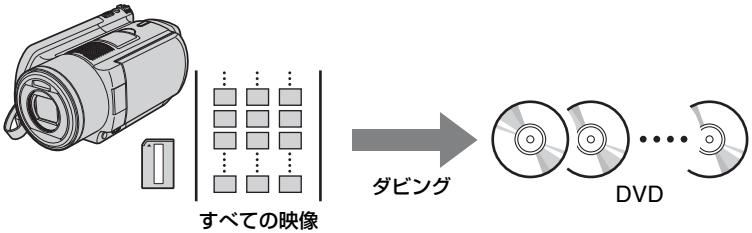
まるごとダビング

HDD CAM　MS CAM　DVD CAM　DV CAM

本機の⊙（録画）ボタンを押すだけでデジタルビデオカメラに記録されている映像すべてを DVD にダビングします。このダビング方法では、ディスクが完成するまでの操作が自動的に行われます。完成したビデオ DVD（29 ページ）は、DVD プレーヤーや DVD ドライブ搭載のパソコンですぐに再生できます。AVCHD ディスク（29 ページ）は、AVCHD 規格の再生に対応する機器で再生できます。
映像は次の通りにダビングされます。

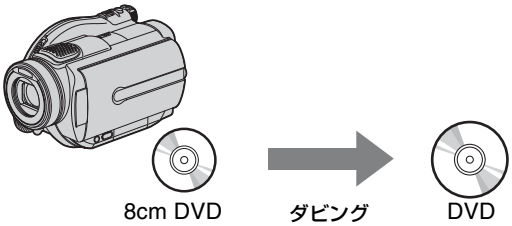
“ハンディカム”（HDD/ メモリースティック）（44、55 ページ）

ハードディスク上またはメモリースティック上に録画されている映像すべてをディスクにダビングします。（録画されている映像の長さによって、必要なディスクの枚数は異なります。）



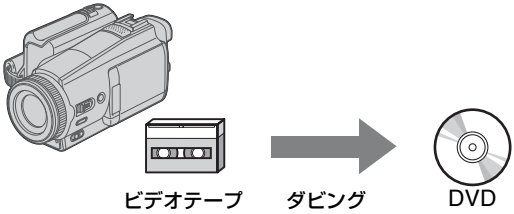
“ハンディカム”（DVD）（65 ページ）

8cm ディスクに録画されたすべての映像を 12cm ディスクにダビングします。



“ハンディカム”（DV/D8）や DV 方式デジタルビデオカメラ（70 ページ）

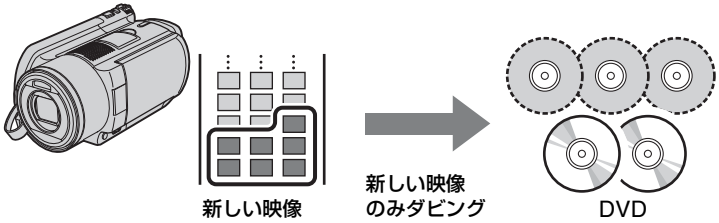
DV テープ（DV 規格）や 8mm テープ（Digital8 規格）に録画されたすべての映像をディスクにダビングします。



つづきダビング（46、56 ページ）

HDD CAM　MS CAM

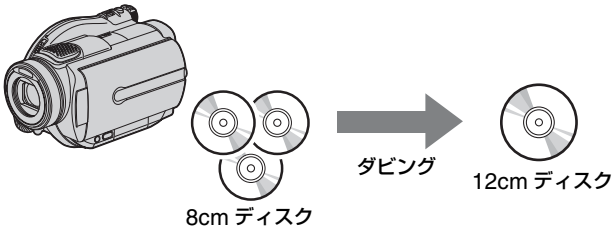
すでにディスクにコピーした映像は録画されず、新たに撮影された映像のみダビングします。



ひとまとめダビング（66 ページ）

DVD CAM

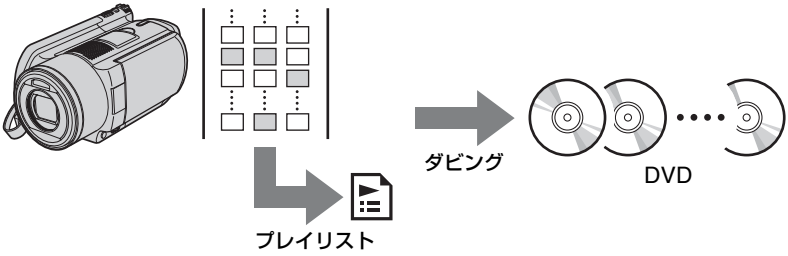
複数枚の 8cm ディスクに録画された映像を 12cm のディスクにダビングし、ひとまとめにします。



プレイリストダビング（48、58 ページ）

HDD CAM　MS CAM

“ハンディカム”（HDD/ メモリースティック）のプレイリストに追加されている映像を DVD にダビングします。あらかじめ“ハンディカム”上でダビングしたい映像を選びプレイリストを作成しておけば、それらの映像だけを DVD にダビングすることができます。（プレイリストの作り方については、“ハンディカム”の取扱説明書をご覧ください。）



映像選択ダビング（49、59 ページ）

HDD CAM　MS CAM

シーンや撮影日を選択して、映像をダビングします。

シーンから選択

撮影日から選択

マニュアルダビング（72 ページ）

DV CAM　Video Device

本機と接続した機器の操作を手動で行いながら、映像をダビングします。この方法では、録画したい映像をディスプレイで見ながら、ダビングすることができます。

作成できるディスクについて
ービデオ DVD と AVCHD ディスクー

ビデオ DVD（スタンダード画質のディスク）

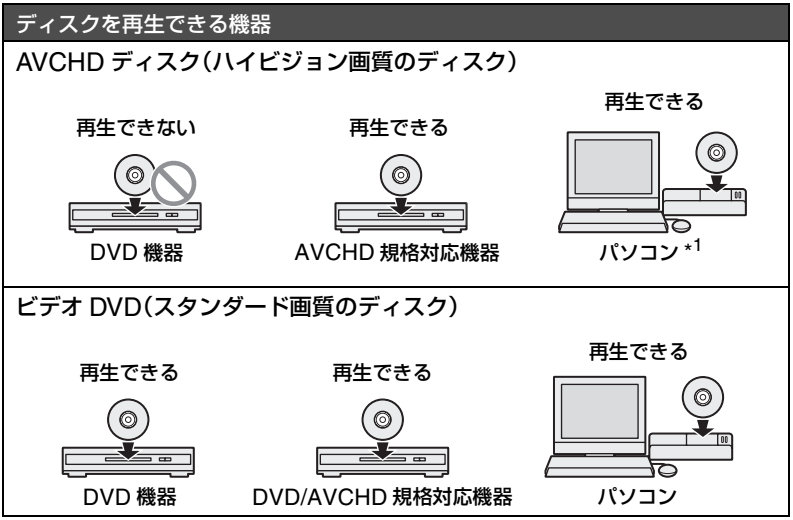
各種のビデオカメラやビデオ機器を接続して映像を見ながら DVD にダビングしたり、対応する“ハンディカム”の映像をそのままの画質でダビングしたディスクです。作成したディスク（ビデオ DVD）は、DVD プレーヤーなどの DVD 機器で再生できます。
また、ビデオ DVD には、好きな写真を DVD メニュー（99 ページ）に設定することもできます。

AVCHD ディスク（ハイビジョン画質のディスク）

ハイビジョン“ハンディカム”（HDD/ メモリースティック）の映像をそのままの画質でダビングしたディスクです。作成したディスク（AVCHD ディスク）は、AVCHD 規格に対応した機器で再生できます。ハイビジョンに対応したテレビで見れば、HD（ハイビジョン）画質の映像を楽しむことができます。

AVCHD ディスクの再生互換性について

- DVD プレーヤーや DVD レコーダーは AVCHD 規格に非対応のため、AVCHD ディスクを再生できません。
- AVCHDディスクはDVDプレーヤーやDVDレコーダーに入れないでください。ディスクの取り出しができなくなったり、警告なしに映像が消去されたりする恐れがあります。
- AVCHD ディスクは、ブルーレイディスクプレーヤー / レコーダー、“プレイステーション 3”などの AVCHD 規格に対応した機器で再生できます。



*1 AVCHD 規格の再生に対応するアプリケーションをインストールしたパソコンをお使いください。また、動作環境を満たしたパソコンでも、再生画像のノイズ、コマ落ち、音途切れが発生することがあります。（これは、作成した AVCHD ディスクの品質によるものではありません。）

デジタルビデオカメラ / ビデオ機器、録画画質と接続端子について

ダビングするとき、接続した機器と画質にあった入力端子をお使いください。入力端子に応じて適切なディスクを選択する必要があるため、「使用できるディスク」（109 ページ）もご覧ください。

機器の種類	画質	本機の入力端子			
		USB	DV IN	VIDEO IN	S VIDEO IN
ソニー“ハンディカム”（HDD）	HD Video	✓			
	SD Video	✓		✓	✓
ソニー“ハンディカム”（メモリースティック）	HD Video	✓			
	SD Video	✓		✓	✓
ソニー“ハンディカム”（DVD）	HD Video				
	SD Video	✓		✓	✓
ソニー“ハンディカム”（HDV/DV/D8）	HD Video				
	SD Video		✓	✓	✓
ソニー“ハンディカム”（MICROMV）	SD Video			✓	✓
他社製デジタルビデオカメラ（DV 方式）	SD Video		✓	✓	✓
各種ビデオ機器	HD Video				
	SD Video			✓	✓

ヒント

- 映像入力端子や S 映像入力端子を使ってダビングすることによって、HD（ハイビジョン）画質の映像を SD（スタンダード）画質でダビングすることができます。
- ハイビジョン“ハンディカム”（HDV）をご使用の場合、“ハンディカム”の〔i.LINK DV 変換〕設定を〔入〕にすれば、DV 端子を使って HD（ハイビジョン）画質の映像を SD（スタンダード）画質でダビングすることができます。
- “ハンディカム”（メモリースティック）をご使用の場合、“メモリースティックデュオ”を本機のメモリースティックデュオスロットへ挿入して、ダビングできます。

ご注意

次のダビングはできません。

- 本機のメモリーカードスロットへ“メモリースティックデュオ”以外のメモリーカードを挿入して映像を直接ダビングする。
- 1 枚の DVD に HD（ハイビジョン）画質と SD（スタンダード）の映像を一緒にダビングする。
- デジタルビデオカメラに録画されている映像と写真を一緒にダビングする。
- “ハンディカム”（DVD）から、VR モードで初期化された 8cmDVD-RW ディスクの映像をダビングする。
- コピー制御信号のある映像（市販の DVD、ビデオテープ、衛星あるいはケーブルテレビの番組など）をダビングする。
- デジタルスチルカメラで撮影した動画

デジタルビデオカメラを操作・設定する時のご注意

- “ハンディカム”（HDD/DVD/ メモリースティック）の〔USB 速度設定〕は、〔自動〕に設定してください。（初期設定は、〔自動〕です。）
- “ハンディカム”（DV/D8）の〔A/V → DV OUT〕の設定は、〔OFF〕に設定してください。（初期設定は、〔OFF〕です。）
- デジタルビデオカメラの撮影画面設定を〔16：9〕で撮影した映像を、本機の DV IN / VIDEO IN / S-VIDEO IN に接続してダビングする場合、デジタルビデオカメラのテレビ出力画面設定は〔4：3〕にしてください。
- “ハンディカム”を、パソコンや“プレイステーション 3”に接続してファイルの削除や映像の編集を行った場合、本機に接続してダビングできなくなることがあります。ファイルの削除や映像の編集は、“ハンディカム”本体で行ってください。

ダビングに要する時間について

映像をダビングするときに要する時間は、撮影したときの録画モード（FH、XP、HQ、SP、LP）やシーンの数によって変わります。一般に、撮影時に設定した録画モードの画質（ビットレート）が高いほど、ディスクへのダビング時間はかかります。1 時間の映像をディスクにダビングする場合にかかる時間はおおよそ次のようになっています。

AVCHD ディスク（ハイビジョン画質のディスク）の作成

モード	ハイビジョン“ハンディカム”（HDD/ メモリースティック）接続時	メモリースティックデュオスロット使用時
FH	約 45 分	約 60 分
XP	約 40 分	約 50 分
HQ	約 25 分	約 35 分
SP	約 20 分	約 25 分
LP	約 15 分	約 20 分

ビデオ DVD（スタンダード画質のディスク）の作成

モード	“ハンディカム”（HDD/ メモリースティック）接続時	“ハンディカム”（DVD）接続時	メモリースティックデュオスロット使用時
HQ	約 20 分	約 40 分	約 40 分
SP	約 15 分	約 30 分	約 30 分
LP	約 10 分	約 20 分	約 20 分

ヒント

DV IN、VIDEO IN、S-VIDEO IN の各端子にビデオカメラを接続してダビングするときに要する時間は、ダビングする映像の再生時間と同じです。

使用できるディスク

109 ページをご覧ください。

ディスク 1 枚に録画できる時間について

ディスク 1 枚に録画できる時間は、おおよそ次のようになっています。

AVCHD ディスク

録画時間は“ハンディカム”の撮影モードによって変わります。

“ハンディカム”の撮影モード	録画可能時間
FH	約 30 分
XP	約 35 分
HQ	約 55 分
SP	約 1 時間 10 分
LP	約 1 時間 35 分

ビデオ DVD（USB 端子またはメモリースティックデュオスロット使用時）

録画時間は、“ハンディカム”の撮影モードによって変わります。

“ハンディカム”の撮影モード	録画可能時間
HQ	約 1 時間
SP	約 1 時間 30 分
LP	約 3 時間

ビデオ DVD（DV IN、VIDEO IN、S-VIDEO IN 端子使用時）

録画時間は、本機の設定メニューの「録画画質」(98 ページ) で設定できます。

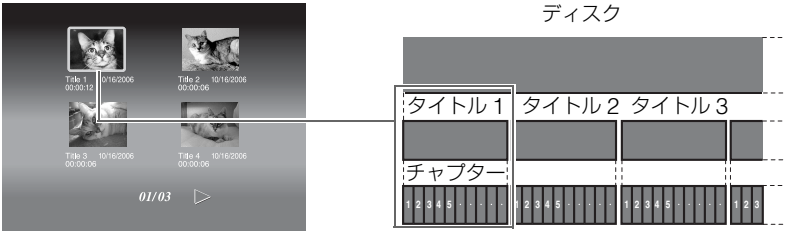
本機の「録画画質」設定	録画可能時間 *
HQ	約 1 時間
HSP	約 1 時間 30 分
SP	約 2 時間
LP	約 3 時間
SLP	約 6 時間

* 一層ディスクへ録画する場合の目安時間です。

作成したビデオ DVD と AVCHD ディスクについて

DVD の映像は、タイトルと呼ばれる部分とチャプターと呼ばれるさらに小さな部分から成っています。
DVD メニューは、DVD プレーヤーに DVD を挿入するたびに表示され、再生する映像を選ぶときに役立ちます。
本機を使用すれば、DVD メニュー画面に録画したタイトルのサムネイル画像を表示するビデオ DVD を作成できます。また、DVD メニューの背景には、本機に内蔵されている画像やお手持ちの写真を使用することができます。

DVD メニュー画面



本機でビデオ DVD や AVCHD ディスクを作成するとき、タイトル、チャプター、DVD メニューは、以下のようになります。

ビデオ DVD（DV IN/VIDEO IN/S-VIDEO IN 端子を使用したダビング）

タイトル	録画開始から停止までの間が 1 つのタイトルになります。
チャプター	設定メニューの「自動チャプター」での設定にしたがって作成されます。
DVD メニュー	「DVD メニュー」の設定の中から、用意されているメニュー画面または好きな写真を設定できます（99 ページ）。
本機での再生	再生できます。

ビデオ DVD（USB 端子またはメモリースティックデュオスロットを使用したダビング）

タイトル	撮影日付ごとにまとめられているタイトル *1 を自動的に作成します。
チャプター	各タイトルの中で、ダビングするシーン *2 ごとにチャプターを作成します。
DVD メニュー	「DVD メニュー」の設定の中から、用意されているメニュー画面または好きな写真を設定できます（99 ページ）。
本機での再生	再生できます。

AVCHD ディスク

タイトル	撮影日付などによってタイトルが分割されることはありません。
チャプター	1 つのタイトルの中で、ダビングするシーン *2 ごとにチャプターを作成します。
DVD メニュー	作成されません。
本機での再生	再生できません。

*1 異なる録画モード（HQ/SP/LP）や異なる比率（16:9 と 4:3）の映像をダビングした場合にも、タイトルが分かれることがあります。

*2 シーンとは、ビデオカメラで撮影したときの録画開始から録画停止までの映像の単位のことです。

“ハンディカム”（HDD/ メモリースティック）のビデオをダビングする－ワンタッチダビング－

HDD CAM　MS CAM　HD Video　SD Video

“ハンディカム”（HDD/ メモリースティック）の〔ワンタッチ DVD〕または〔ワンタッチディスク〕ボタンを押すだけで、“ハンディカム”で撮影したビデオをかんたんに DVD にダビングできます。
ワンタッチダビングでは、つづきダビング（27 ページ）と同じように、前回ダビングした後に新しく撮影された映像のみダビングします。

ヒント

ハイビジョン“ハンディカム”に、HD（ハイビジョン）画質の映像と SD（スタンダード）画質の映像の両方が保存されているときは、HD（ハイビジョン）画質の映像を DVD にダビングします。

1　⏻（電源）ボタンを押し、本機の電源を入れる。

「DVD を入れてください。」と表示されます。

2　ディスクを挿入する（22 ページ）。

ディスクの読み込みが始まります。

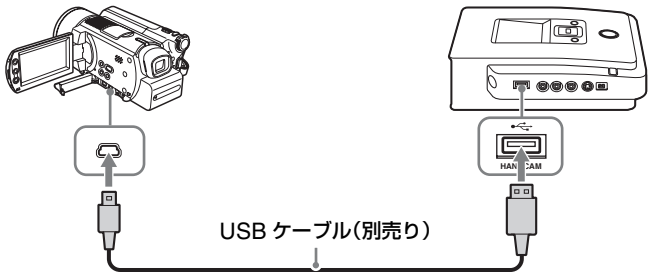
ご注意

AVCHD ディスクを作成する場合は、新しいディスクを挿入してください。

3　“ハンディカム”の電源を入れる。

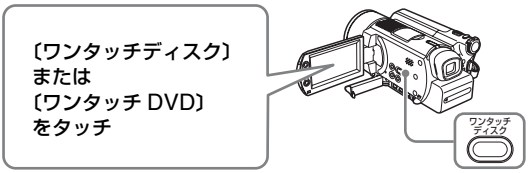
4　“ハンディカム”を本機につなぐ。

“ハンディカム”の USB 端子（タイプミニ B）を本機の USB 入力端子（タイプ A）につなぎます。



USB ケーブルをつなぐと、“ハンディカム”の液晶画面に〔USB 機能選択〕が表示されます。

5 **“ハンディカム”に表示された〔ワンタッチディスク〕をタッチする。または“ハンディカム”本体やハンディカムステーションの〔ワンタッチディスク〕ボタンを押す。**



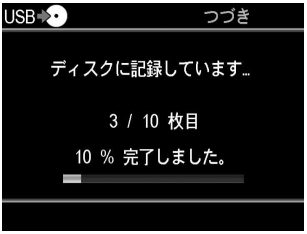
ご注意

お使いの“ハンディカム”によって、画面上や本体ボタンに表示される名称や絵が異なる場合があります。（例〔ワンタッチ DVD〕など。）

ダビングが自動的に始まります。

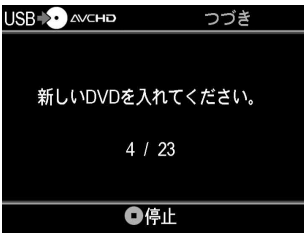
ハイビジョン画質のビデオをダビングするとき

スタンダード画質のビデオをダビングするとき



ヒント

1 枚のディスクにダビングできない場合、以下のメッセージが表示されると同時に、自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、新しいディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



6 ダビングが終了する。

ハイビジョン画質のビデオをダビングした場合
自動的にディスクトレイが開きます。

スタンダード画質のビデオをダビングした場合
「完了しました。」と表示され、ダビングを自動的に終了します。
ディスクを取り出すには、⏏（開 / 閉）ボタンを押し、ファイナライズを行うか選んでください（90 ページ）。RETURN ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

ダビングを止めるには

ディスクへダビングしている間は止めることはできません。ディスクを交換するときに、■（停止）ボタンを押して止めることができます。

ワンタッチダビングを行う場合のご注意

ワンタッチダビングは、以下の場合に使用できます。

- ナビゲーションディスプレイ（18 ページ）のとき
- メニュー画面（20 ページ）が表示されているとき

ハイブリッド“ハンディカム”をお使いの場合のご注意

ハイブリッド“ハンディカム”を使ってワンタッチダビングを行う場合、“ハンディカム”のハードディスクに保存された映像をダビングします（ワンタッチダビングで“ハンディカム”のメモリースティックに保存された映像をダビングすることはできません）。

“ハンディカム”(HDD)からビデオをダビングするーダビング方法を選ぶー

HDD CAM　HD Video　SD Video

本機に“ハンディカム”（HDD）をつなぐと、4 つのダビングモードを使うことができます。

ダビングモードを選ぶ前に

ナビゲーションディスプレイ (18 ページ) から操作する場合は、以下の手順に従って操作してください。メニュー画面を表示している場合には、「メニュー画面からダビングするには」（42 ページ）の手順に従って操作してください。

1 **⏻(電源)ボタンを押して本機の電源を入れ、ディスクを挿入する(22 ページ)。**

ディスクの読み込みが始まります。

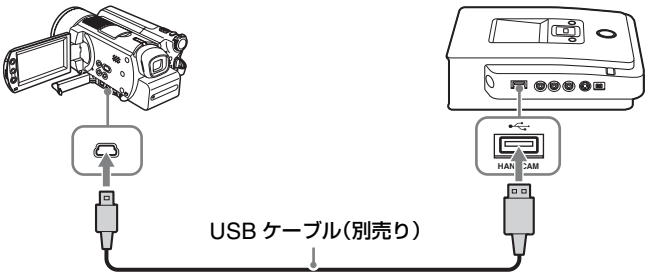
ご注意

AVCHD ディスクを作成する場合は、新しいディスクを挿入してください。

2 **“ハンディカム”の電源を入れる。**

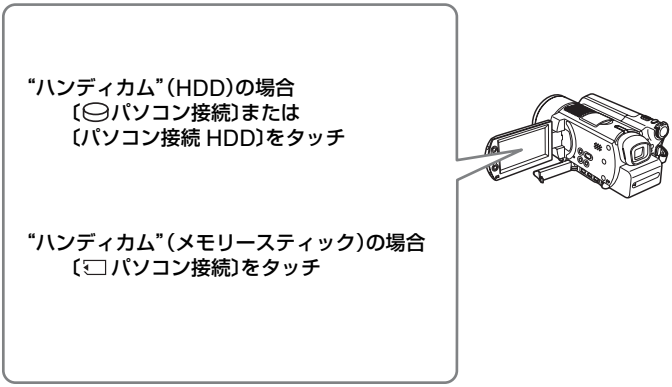
3 **“ハンディカム”を本機につなぐ。**

“ハンディカム”の USB 端子(タイプミニ B)を本機の USB 入力端子(タイプ A)につなぎます。



USB ケーブルをつなぐと、“ハンディカム”の液晶画面に〔USB 機能選択〕が表示されます。

4 “ハンディカム”の〔パソコン接続〕をタッチする。

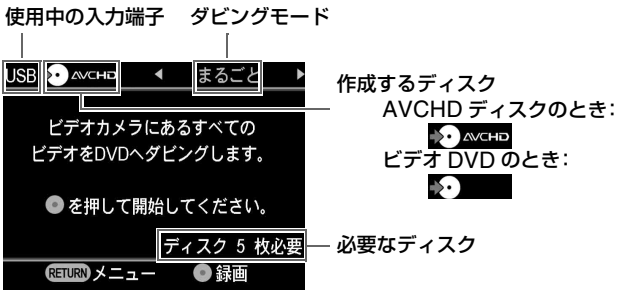


“ハンディカム”でボタンをタッチすると、本機の画面表示が変わります。

ご注意

お使いの“ハンディカム”によっては、〔USB 機能選択〕が表示されない場合があります。また、お使いの“ハンディカム”によっては画面上のボタンに表示される名称や絵が異なる場合があります。本機と“ハンディカム”を接続してダビングを行うには、“ハンディカム”の〔USB 機能選択〕画面で、パソコンと接続する状態に設定する必要があります。パソコンへの接続について詳しくは、お使いの“ハンディカム”の取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングモードが表示される。



←/→ で画面右上のダビングモードを選びます。

それぞれのダビングモードについては、以下のページを参照してください。

- まるごとダビング　44 ページ
- つづきダビング　46 ページ
- プレイリストダビング　48 ページ
- 映像選択ダビング　49 ページ

ヒント

ナビゲーションディスプレイに従って操作する場合は、ハイビジョン“ハンディカム”に、HD（ハイビジョン）画質の映像と SD（スタンダード）画質の映像の両方が保存されているときは、HD（ハイビジョン）画質の映像を DVD にダビングします。

メニュー画面からダビングするには

メニュー画面を操作し、ダビングすることもできます。

■ ハイビジョン画質のビデオをダビングする場合

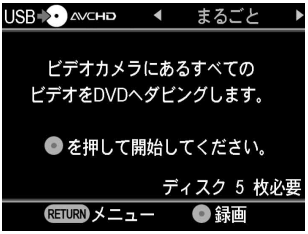
1 RETURN（メニュー/ 戻る）ボタンを押し、メニュー画面を表示する。

2 ↑/↓ を押して「AVCHD ダビング」を選び、□（選択）ボタンを押す。

ヒント

本機の USB 端子に“ハンディカム”が接続されていると同時に、本機のメモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されている場合、入力を選択する画面が現れます。この場合は、↑/↓ を押して、「USB」を選んでください。

3 ダビングモードが表示される。



←/→ で画面右上のダビングモードを選びます。

それぞれのダビングモードについては、以下のページを参照してください。

- まるごとダビング　44 ページ
- つづきダビング　46 ページ
- プレイリストダビング　48 ページ
- 映像選択ダビング　49 ページ

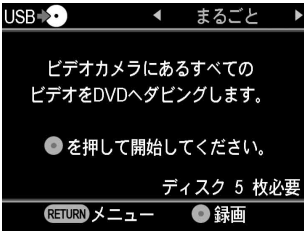
■ スタンダード画質のビデオをダビングする場合

1 RETURN（メニュー/ 戻る）ボタンを押し、メニュー画面を表示する。

2 「ビデオ → DVD」を選んでいることを確認し、（選択）ボタンを押す。

3 ↑/↓ を押して「USB」を選び、（選択）ボタンを押す。

4 ダビングモードが表示される。



←/→ で画面右上のダビングモードを選びます。

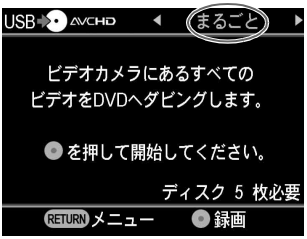
それぞれのダビングモードについては、以下のページを参照してください。

- まるごとダビング　44 ページ
- つづきダビング　46 ページ
- プレイリストダビング　48 ページ
- 映像選択ダビング　49 ページ

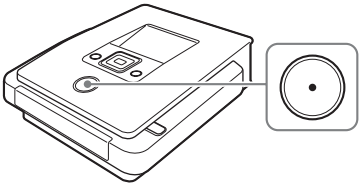
まるごとダビング

「まるごとダビング」を使って、“ハンディカム”に記録されているすべてのビデオを 1 枚または複数のディスクにダビングすることができます。

1 画面右上に「まるごと」が表示されるまで ←/→ を押す。



2 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。

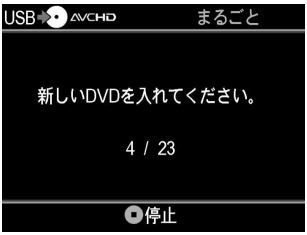


ディスクがフォーマットされた後、ダビングが始まります。ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

現在録画中のディスク / 必要なディスク

3 ディスクがいっぱいになったら、ディスクを交換する。

1 枚のディスクにダビングできない場合、以下のメッセージが表示されると同時に、自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、新しいディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



4 ダビングが終了する。

ダビングが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。完成したビデオ DVD は、DVD プレーヤーや DVD ドライブ搭載のパソコンですぐに再生できます。AVCHD ディスクは AVCHD ディスクの再生に対応する機器で再生できます。

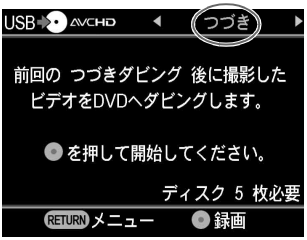
ダビングを止めるには

ディスクへダビングしている間は止めることはできません。ディスクを交換するときに、⊙（停止）ボタンを押して止めることができます。

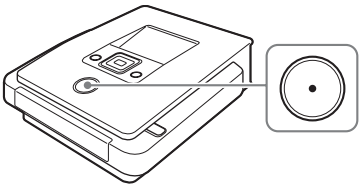
つづきダビング

前回ダビング（つづきダビングまたはワンタッチダビング）した後に新しく撮影された映像のみダビングします。

1 画面右上に「つづき」が表示されるまで ←/→ を押す。



2 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。

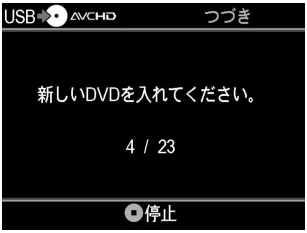


ディスクがフォーマットされた後、ダビングが始まります。ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

現在録画中のディスク / 必要なディスク

3 **ディスクがいっぱいになったら、ディスクを交換する。**

1 枚のディスクにダビングできない場合、以下のメッセージが表示されると同時に、自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、新しいディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



ご注意

“ハンディカム”に新しく撮影されたビデオが無い場合（すべてのビデオがすでに DVD にダビングされている場合）、「つづきダビング」を行うことはできません。

4 **ダビングが終了する。**

ハイビジョン画質のビデオをダビングした場合

ダビングが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。

スタンダード画質のビデオをダビングした場合

「完了しました。」と表示され、ダビングを自動的に終了します。
ディスクを取り出すには、⏏（開 / 閉）ボタンを押し、ファイナライズを行うかを選んでください（90 ページ）。RETURN ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

ヒント

ダビングされたディスクをファイナライズしないで取り出すと、あとで同じディスクにビデオを追加録画することができます。

ダビングを止めるには

ディスクへダビングしている間は止めることはできません。ディスクを交換するときに、■（停止）ボタンを押して止めることができます。

つづきダビングのご注意

以下のような場合、つづきダビングを最初からやり直します。

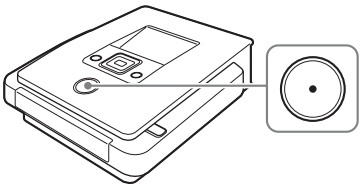
- 前につづきダビングを行ったときと異なる“メモリースティック”が、“ハンディカム”（メモリースティック）に挿入されていた場合。
- 前につづきダビングを行ったときと異なる“ハンディカム”（HDD）が接続された場合。

プレイリストダビング

“ハンディカム”のプレイリストに登録されたシーンをダビングできます。プレイリストダビングを行うには、あらかじめ“ハンディカム”上でプレイリストを作成してください。

1 画面右上に「プレイリスト」が表示されるまで ←/→ を押す。

2 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。



ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

3 以降の手順は、「つづきダビング」（46ページ）の手順3と4を参照してください。

ダビングを止めるには

ディスクへダビングしている間は止めることはできません。ディスクを交換するときに、■（停止）ボタンを押して止めることができます。

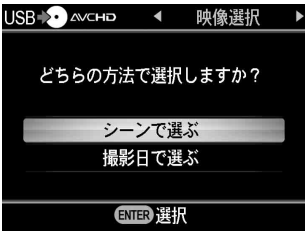
映像選択ダビング

ダビングしたい映像を、撮影シーンの画像インデックスや撮影日から選び、ダビングできます。

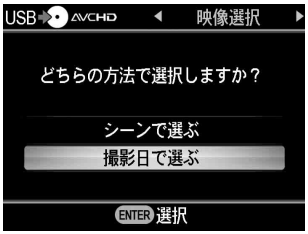
1 画面右上に「映像選択」が表示されるまで ←/→ を押す。

2 ↑/↓ を押して「シーンで選ぶ」または「撮影日で選ぶ」を選び、□（選択）ボタンを押す。

シーンで選ぶ

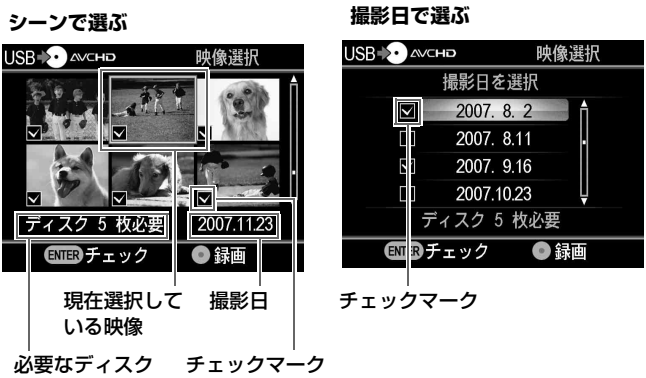


撮影日で選ぶ



3 ↑/↓/←/→ を押して、ダビングしたいシーンまたは撮影日を選び、□（選択）ボタンを押しチェックマークを付ける。

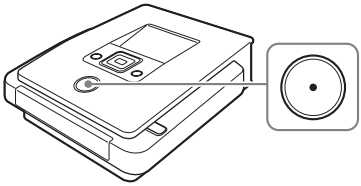
チェックマークを付けたシーンや撮影日の映像だけをダビングします。



ヒント

（選択）ボタンを繰り返し押して、チェックマークを付けたりはずしたりできます。

4 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを開始する。



ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

5 以降の手順は、「つづきダビング」（46ページ）の手順3と4を参照してください。

ダビングを止めるには

ディスクへダビングしている間は止めることはできません。ディスクを交換するときに、⊙（停止）ボタンを押して止めることができます。

“ハンディカム”(メモリースティック)からビデオをダビングする－ダビング方法を選ぶ－

MS CAM　HD Video　SD Video

本機のメモリースティックデュオスロットへ“メモリースティックデュオ”を挿入して、ダビングします。“ハンディカム”と本機を接続しないで、かんたんにダビングできます。
USB ケーブルを“ハンディカム”本体に接続してダビングすることもできます (40 ページ)。

ダビングモードを選ぶ前に

ナビゲーションディスプレイ（18 ページ）から操作する場合は、以下の手順に従って操作してください。メニュー画面を表示している場合には、「メニュー画面からダビングするには」（52 ページ）の手順に従って操作してください。

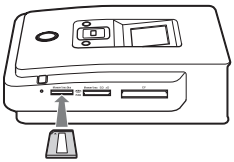
1 **⏻(電源)ボタンを押して本機の電源を入れ、ディスクを挿入する(22 ページ)。**

ディスクの読み込みが始まります。

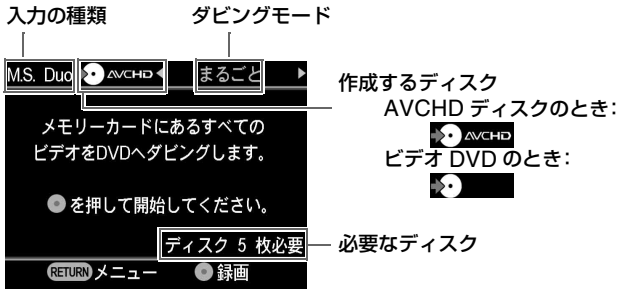
ご注意

AVCHD ディスクを作成する場合は、新しいディスクを挿入してください。

2 **メモリースティックデュオスロットへ“メモリースティックデュオ”を挿入する。**



3 ダビングモードが表示される。



←/→ で画面右上のダビングモードを選びます。

それぞれのダビングモードについては、以下のページを参照してください。

- まるごとダビング　55 ページ
- つづきダビング　56 ページ
- プレイリストダビング　58 ページ
- 映像選択ダビング　59 ページ

ヒント

ナビゲーションディスプレイに従って操作する場合は、“メモリースティック デュオ”に、HD（ハイビジョン）画質の映像と SD（スタンダード）画質の映像の両方が保存されているときは、HD（ハイビジョン）画質の映像を DVD にダビングします。

メニュー画面からダビングするには

メニュー画面を操作し、ダビングすることもできます。

■ ハイビジョン画質のビデオをダビングする場合

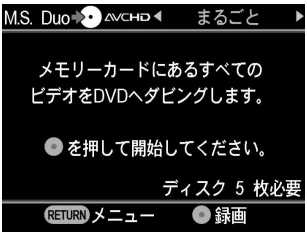
1 RETURN（メニュー/ 戻る）ボタンを押し、メニュー画面を表示する。

2 ↑/↓ を押して「AVCHD ダビング」を選び、□（選択）ボタンを押す。

ヒント

本機の USB 端子に“ハンディカム”が接続されていると同時に、本機のメモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されている場合、入力を選択する画面が現れます。この場合は、↑/↓ を押して、「メモリーカード」を選んでください。

3 ダビングモードが表示される。



←/→ で画面右上のダビングモードを選びます。

それぞれのダビングモードについては、以下のページを参照してください。

- まるごとダビング　55 ページ
- つづきダビング　56 ページ
- プレイリストダビング　58 ページ
- 映像選択ダビング　59 ページ

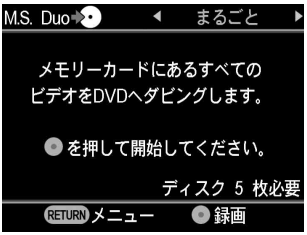
■ スタンダード画質のビデオをダビングする場合

1 RETURN(メニュー/戻る)ボタンを押し、メニュー画面を表示する。

2 「ビデオ ➔ DVD」を選んでいることを確認し、(選択)ボタンを押す。

3 ⬆/⬇ を押して「メモリーカード」を選び、(選択)ボタンを押す。

4 ダビングモードが表示される。



⬅/➡ で画面右上のダビングモードを選びます。

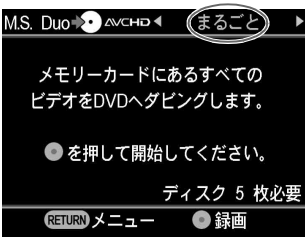
それぞれのダビングモードについては、以下のページを参照してください。

- まるごとダビング　55 ページ
- つづきダビング　56 ページ
- プレイリストダビング　58 ページ
- 映像選択ダビング　59 ページ

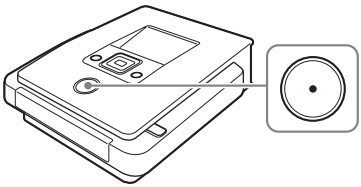
まるごとダビング

「まるごとダビング」を使って、“メモリースティックデュオ”に記録されているすべてのビデオを 1 枚または複数のディスクにダビングすることができます。

1 画面右上に「まるごと」が表示されるまで ←/→ を押す。



2 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。

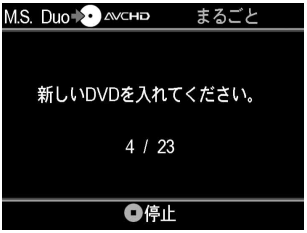


ディスクがフォーマットされた後、ダビングが始まります。ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

現在録画中のディスク / 必要なディスク

3 **ディスクがいっぱいになったら、ディスクを交換する。**

1 枚のディスクにダビングできない場合、以下のメッセージが表示されると同時に、自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、新しいディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



4 **ダビングが終了する。**

ダビングが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。完成したビデオ DVD は、DVD プレーヤーや DVD ドライブ搭載のパソコンですぐに再生できます。AVCHD ディスクは AVCHD ディスクの再生に対応する機器で再生できます。

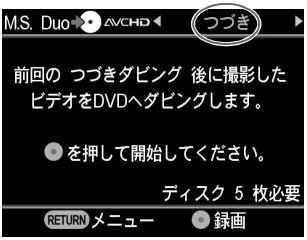
ダビングを止めるには

ディスクへダビングしている間は止めることはできません。ディスクを交換するときに、◉（停止）ボタンを押して止めることができます。

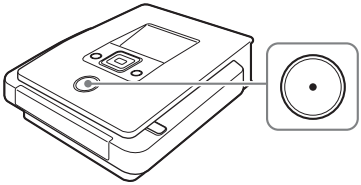
つづきダビング

前回ダビング（つづきダビングまたはワンタッチダビング）した後に新しく撮影された映像のみダビングします。

1 **画面右上に「つづき」が表示されるまで ←/→ を押す。**



2 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。

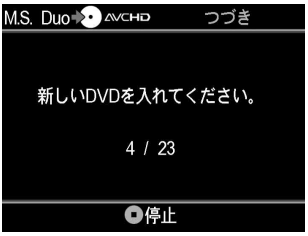


ディスクがフォーマットされた後、ダビングが始まります。ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

現在録画中のディスク / 必要なディスク

3 ディスクがいっぱいになったら、ディスクを交換する。

1 枚のディスクにダビングできない場合、以下のメッセージが表示されると同時に、自動的にディスクトレイが開きます。完成したディスクを取り出し、新しいディスクを挿入してください。自動的にダビングを再開します。



ご注意

“メモリースティックデュオ” に新しく撮影されたビデオが無い場合（すべてのビデオがすでに DVD にダビングされている場合）、「つづきダビング」を行うことはできません。

4 ダビングが終了する。

ハイビジョン画質のビデオをダビングした場合

ダビングが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。

スタンダード画質のビデオをダビングした場合

「完了しました。」と表示され、ダビングを自動的に終了します。
ディスクを取り出すには、⏏（開 / 閉）ボタンを押し、ファイナライズを行うかを選んでください（90 ページ）。RETURN ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

ヒント

ダビングされたディスクをファイナライズしないで取り出すと、あとで同じディスクにビデオを追加録画することができます。

ダビングを止めるには

ディスクへダビングしている間は止めることはできません。ディスクを交換するときに、⊙（停止）ボタンを押して止めることができます。

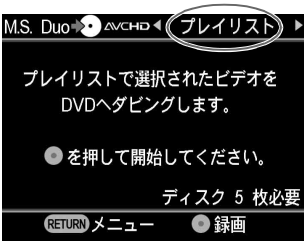
つづきダビングのご注意

前につづきダビングを行ったときと異なる“メモリースティックデュオ”が、メモリースティックデュオスロットへ挿入された場合、つづきダビングを最初からやり直します。

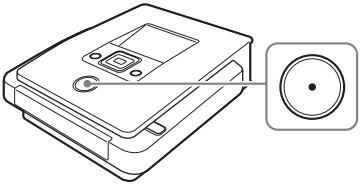
プレイリストダビング

“ハンディカム”のプレイリストに登録されたシーンをダビングできます。プレイリストダビングを行うには、あらかじめ“ハンディカム”上でプレイリストを作成してください。

1 画面右上に「プレイリスト」が表示されるまで ⬅/➡ を押す。



2 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。



ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

3 以降の手順は、「つづきダビング」（46ページ）の手順3と4を参照してください。

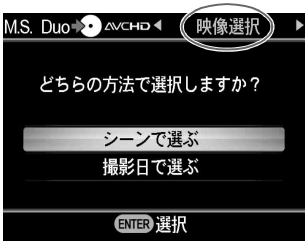
ダビングを止めるには

ディスクへダビングしている間は止めることはできません。ディスクを交換するときに、⊙（停止）ボタンを押して止めることができます。

映像選択ダビング

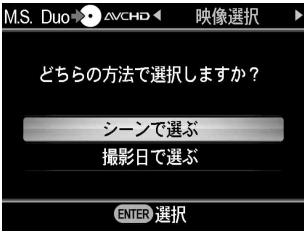
ダビングしたい映像を、撮影シーンの画像インデックスや撮影日から選び、ダビングできます。

1 画面右上に「映像選択」が表示されるまで ←/→ を押す。

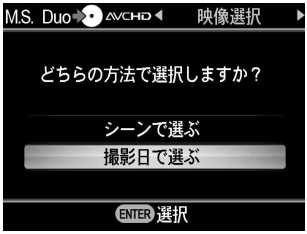


2 ↑/↓ を押して「シーンで選ぶ」または「撮影日で選ぶ」を選び、▭（選択）ボタンを押す。

シーンで選ぶ



撮影日で選ぶ



3 ↑/↓/←/→ を押して、ダビングしたいシーンまたは撮影日を選び、▭（選択）ボタンを押しチェックマークを付ける。

チェックマークを付けたシーンや撮影日の映像だけをダビングします。

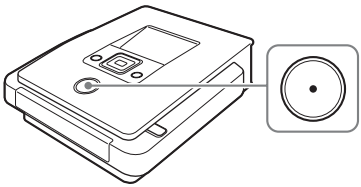
シーンで選ぶ

撮影日で選ぶ

ヒント

▭（選択）ボタンを繰り返し押して、チェックマークを付けたりはずしたりできます。

4 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを開始する。



ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

5 **以降の手順は、「つづきダビング」（46ページ）の手順3と4を参照してください。**

ダビングを止めるには

ディスクへダビングしている間は止めることはできません。ディスクを交換するときに、⊙（停止）ボタンを押して止めることができます。

“ハンディカム”(DVD)からビデオをダビングする

DVD CAM　SD Video

本機に、“ハンディカム”（DVD）をつないでダビングする場合、まるごとダビングとひとまとめダビングを選ぶことができます。

ダビングモードを選ぶ前に

ナビゲーションディスプレイ（18 ページ）から操作する場合は、以下の手順に従って操作してください。メニュー画面を表示している場合には、「メニュー画面からダビングするには」（64 ページ）の手順に従って操作してください。

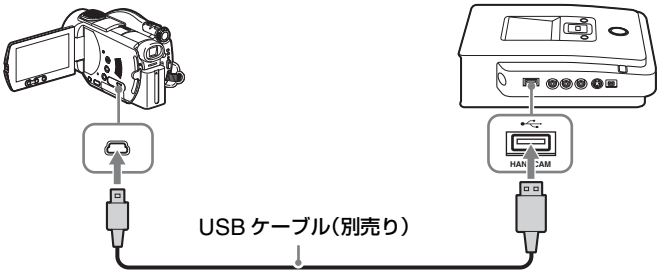
1 **⏻(電源)ボタンを押して本機の電源を入れ、ディスクを挿入する(22 ページ)。**

ディスクの読み込みが始まります。

2 **“ハンディカム”の電源を入れ、〔撮影〕モードから〔見る(再生)/ 編集〕モードに切り換える。**

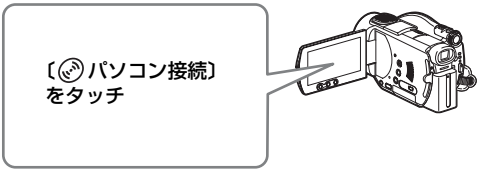
3 **本機と“ハンディカム”をつなぐ。**

USB ケーブル(別売り)を使って、“ハンディカム”の USB 端子(タイプミニ B)を本機の USB 入力端子(タイプ A)につなぎます。



USB ケーブルをつなぐと、“ハンディカム”の液晶画面に〔USB 機能選択〕が表示されます。

4 “ハンディカム”の〔パソコン接続〕をタッチする。

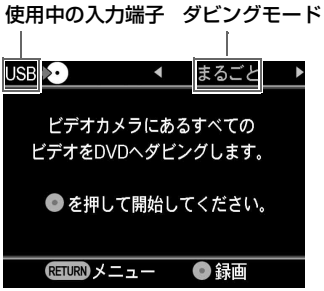


“ハンディカム”でボタンをタッチすると、本機の画面表示が変わります。

ご注意

お使いの“ハンディカム”によっては、〔USB 機能選択〕が表示されない場合があります。また、画面上のボタンに表示される名称や絵が異なる場合があります。本機と“ハンディカム”を接続してダビングを行うには、“ハンディカム”の〔USB 機能選択〕画面で、パソコンと接続する状態に設定する必要があります。パソコンへの接続について詳しくは、お使いの“ハンディカム”の取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングモードが表示される。



←/→ で画面右上のダビングモードを選びます。

それぞれのダビングモードについては、以下のページを参照してください。

- まるごとダビング　65 ページ
- ひとまとめダビング　66 ページ

メニュー画面からダビングするには

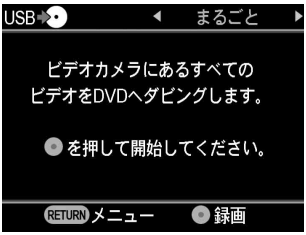
メニュー画面を操作し、ダビングすることもできます。

1 RETURN（メニュー/戻る）ボタンを押し、メニュー画面を表示する。

2 「ビデオ ➡ DVD」を選んでいることを確認し、▭（選択）ボタンを押す。

3 ⬆/⬇ を押して「USB」を選び、▭（選択）ボタンを押す。

4 ダビングモードが表示される。



⬅/➡ で画面右上のダビングモードを選びます。

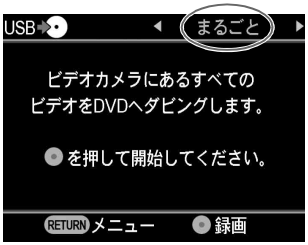
それぞれのダビングモードについては、以下のページを参照してください。

- まるごとダビング　65 ページ
- ひとまとめダビング　66 ページ

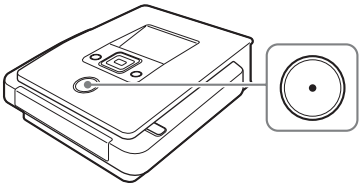
まるごとダビング

「まるごとダビング」を使って、8cmDVD に記録されたすべてのビデオを 1 枚の DVD にダビングすることができます。

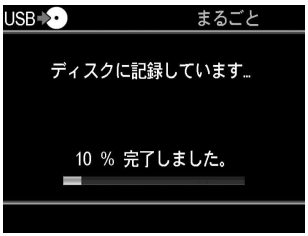
1 画面右上に「まるごと」が表示されるまで ←/→ を押す。



2 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。



ディスクがフォーマットされた後、ダビングが始まります。ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。



3 ダビングが終了する。

ダビングが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。完成したビデオ DVD は、DVD プレーヤーや DVD ドライブ搭載のパソコンですぐに再生できます。

ご注意

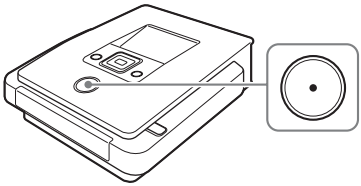
ダビングを途中で止めることはできません。

ひとまとめダビング

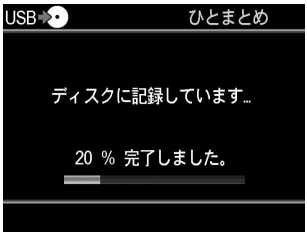
複数の 8cmDVD に撮影された映像をダビングして、1 枚の 12cmDVD にまとめることができます。

1 画面右上に「ひとまとめ」が表示されるまで ←/→ を押す。

2 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。



ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。



3 ダビングが終了する。

「完了しました。」と表示され、ダビングを自動的に終了します。
ディスクを取り出すには、⏏（開 / 閉）ボタンを押し、ファイナライズを行うかを選んでください（90 ページ）。RETURN ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

ヒント

- 他の8cmDVDに記録されたビデオを続けて同じ12cmDVDにダビングする場合は、“ハンディカム”の 8cmDVD を入れかえて、⊙（録画）ボタンを押します。
- ダビング後にファイナライズをしないでディスクを取り出すと、同じディスクにあとで他の 8cmDVD のビデオをダビングできます。

ご注意

ダビングを途中で止めることはできません。

“ハンディカム”(DV/D8)や DV 方式デジタルビデオカメラからビデオをダビングする

DV CAM　SD Video

本機の DV（i.LINK）端子に、“ハンディカム”（DV/D8）や DV 方式のデジタルビデオカメラをつないでダビングする場合、まるごとダビングとマニュアルダビングを選ぶことができます。

ダビングモードを選ぶ前に

ナビゲーションディスプレイ（18 ページ）から操作する場合は、以下の手順に従って操作してください。メニュー画面を表示している場合には、「メニュー画面からダビングするには」（69 ページ）の手順に従って操作してください。

1 ⏻(電源)ボタンを押して本機の電源を入れ、ディスクを挿入する(22 ページ)。

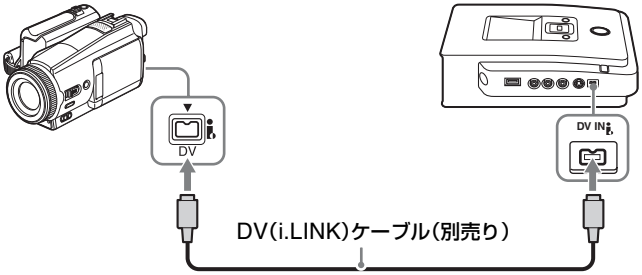
ディスクの読み込みが始まります。

2 ビデオカメラの電源を入れ、再生モードにする。

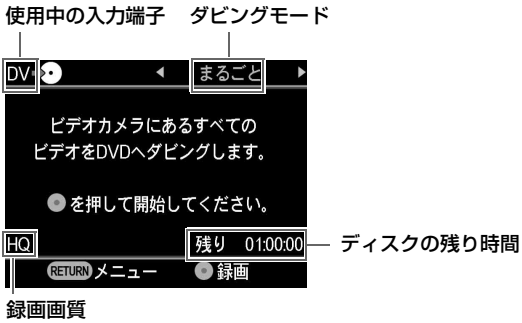
お使いのビデオカメラによって再生モードに設定する方法が異なります。(“ハンディカム”では、電源スイッチを〔見る / 編集〕や〔ビデオ〕などに切り換えます。)詳しくはお使いのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

3 本機とビデオカメラをつなぐ。

DV(i.LINK)ケーブル(別売り)を使って、ビデオカメラの DV 端子を本機の DV IN 端子につなぎます。



4 ダビングモードが表示される。



←/→ で画面右上のダビングモードを選びます。

それぞれのダビングモードについては、以下のページを参照してください。

- まるごとダビング　70 ページ
- マニュアルダビング　72 ページ

メニュー画面からダビングするには

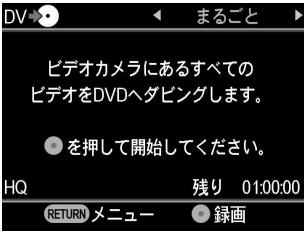
メニュー画面を操作し、ダビングすることもできます。

1 RETURN（メニュー/ 戻る）ボタンを押し、メニュー画面を表示する。

2 「ビデオ → DVD」を選んでいることを確認し、（選択）ボタンを押す。

3 ↑/↓ を押して「DV」を選び、（選択）ボタンを押す。

4 ダビングモードが表示される。



←/→ で画面右上のダビングモードを選びます。

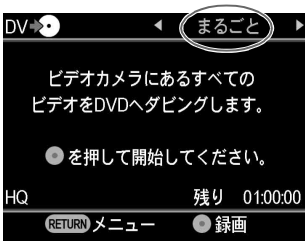
それぞれのダビングモードについては、以下のページを参照してください。

- まるごとダビング　70 ページ
- マニュアルダビング　72 ページ

まるごとダビング

まるごとダビングを使うと、本機がビデオカメラの再生や停止を自動で操作して、テープに記録されているすべてのビデオを DVD にダビングすることができます。

1 画面右上に「まるごと」が表示されていることを確認する。

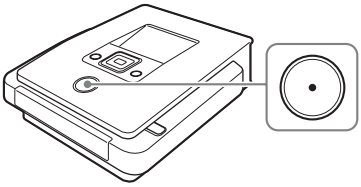


ご注意

新しいディスクが入っているときに、←/→ を押してダビングモードを「まるごと」から「マニュアル」に切り換えようとした場合、フォーマットの画面が現れます。

まるごとダビングを行いたい場合は、「キャンセル」を選び操作をやり直してください（69 ページの手順 **1** または手順 **3** に戻ります）。
または、「OK」を選び、ディスクをフォーマット（初期化）した後で、再び ←/→ を押してダビングモードを「まるごと」から「マニュアル」に切り換えてください。

2 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。



ビデオカメラのテープが自動的に最初まで巻き戻され再生されると同時に、ダビングが始まります。「録画中」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

3 ダビングが終了する。

ダビングが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。完成したビデオ DVD は、DVD プレーヤーや DVD ドライブ搭載のパソコンですぐに再生できます。

ヒント

テープの終わりや空き部分を検出すると、自動的にダビングを終了します。

マニュアルダビング

本機と接続したビデオカメラの操作を手動で行いながら、映像をダビングします。

1 画面上に「マニュアル」が表示されるまで ←/→ を押す。

ご注意

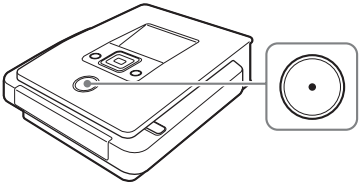
新しいディスクが入っているときに、←/→ を押してダビングモードを「まるごと」から「マニュアル」に切り換えようとした場合、以下の画面が現れます。

マニュアルダビングを行うには、「OK」を選択してディスクをフォーマットしてください。フォーマットには数 10 秒かかります。

2 ビデオカメラを操作して映像を再生する。

再生した映像が表示されます。

3 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。



「録画中」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

4 ⊙（停止）ボタンを押し、ダビングを停止する。

表示画面が変わるまでしばらくお待ちください。

5 続けてダビングするには、手順 2 ～ 4 を繰りかえす。

ディスクを取り出すには、⏏（開 / 閉）ボタンを押し、ファイナライズを行うかを選んでください（90 ページ）。RETURN ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

ダビングを一時停止するには

ダビング中に⊙（録画）ボタンを押します。再開するには再び⊙（録画）ボタンを押します。

マニュアルダビングに関するご注意

- ディスクを入れ、10 分以上放置してからダビングを開始すると、⊙（録画）ボタンを押してから実際に映像がディスクに記録されるまで、数秒ほど時間がかかります。ダビングする場合は、ディスクをいれた後すみやかにダビングを開始してください。
- ダビング中にビデオカメラの再生を停止すると、自動的にダビングを一時停止します。ビデオカメラの再生ボタンを押すと、ダビングを再開します。2 分間一時停止が続くと（ビデオの信号が検出されないと）、ダビングを停止します。
- ⊙（停止）ボタンを押しても、しばらくの間ディスクは回転し、回転音が聞こえます。

ビデオ機器をつないでダビングする

Video Device

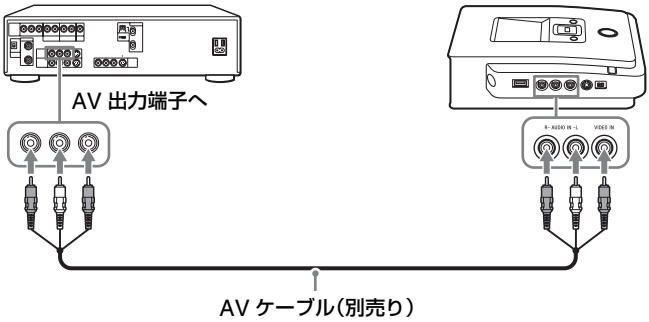
本機と接続したビデオ機器の操作を手動で行いながら、映像をダビングします。この方法では、本機のディスプレイで録画したい映像を見ながら、ダビングすることができます。

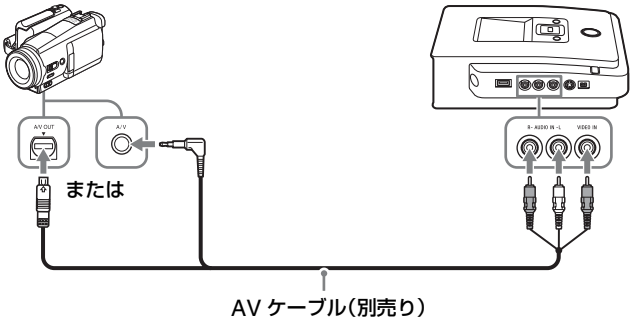
1 本機とビデオ機器をつなぐ。

S ビデオケーブル(別売り)または AV ケーブル(別売り)を使用します。

AV ケーブルの場合

本機の AUDIO IN / VIDEO IN 端子と、ビデオ機器の AV 出力端子を、AV ケーブル（別売り）でつないでください。



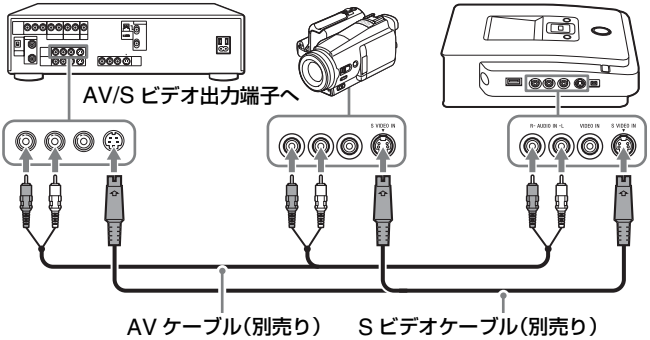


ヒント

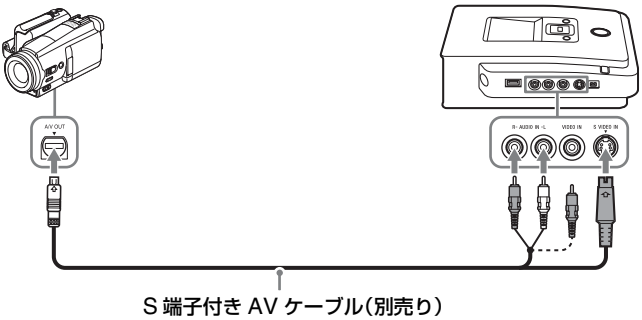
ビデオ機器の端子はお使いの機器により異なります。お使いのビデオ機器の取扱説明書をご覧のうえ、適切なケーブルを使用してください。

S ビデオケーブルの場合

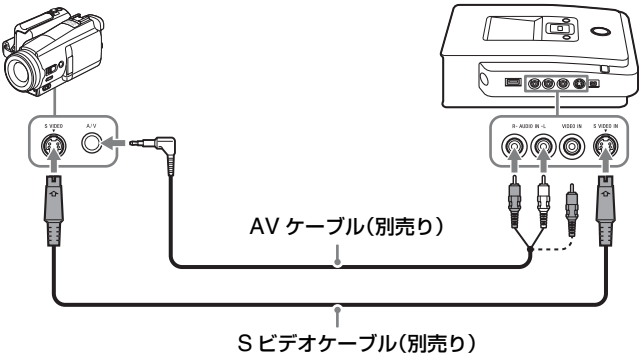
本機の S VIDEO IN 端子と、ビデオ機器の S ビデオ出力端子を、S ビデオケーブル（別売り）で接続し、AUDIO 端子を AV ケーブルで接続してください。



A/V OUT プラグのあるビデオカメラの場合、S 端子付き AV ケーブルで接続できます。



A/V ミニジャックのあるビデオカメラの場合、AV ケーブルと S ビデオケーブルで接続してください。



ヒント

お使いのビデオ機器にSビデオ出力端子がある場合は、Sビデオケーブルを使うとAVケーブル使用時に比べて、より高品質な映像で録画できます。

2 **⏻(電源)ボタンを押し、本機の電源を入れる。**

ヒント

本機の電源を入れたときに、ディスクや接続したビデオ機器の準備が完了していれば、ナビゲーションディスプレイ機能（18ページ）により、次の操作を示す画面またはダビングを開始できる画面が表示されます。
例えば、あらかじめ録画できるディスクが挿入されていて、接続したビデオ機器からの入力信号が検出されていれば、本機の電源を入れてしばらくすると自動的にダビングできる画面（77ページの手順**7**）になります。

3 **RETURN(メニュー/戻る)ボタンを押して、メニュー画面を表示する。**

4 **「ビデオ ➔ DVD」を選んでいることを確認し、▭(選択)ボタンを押す。**

5 **⬆/⬇を押して「VIDEO」または「S-VIDEO」を選び、▭(選択)ボタンを押す。**

6 **ディスクを挿入する (22ページ)。**

ディスクの読み込みが始まります。

ご注意

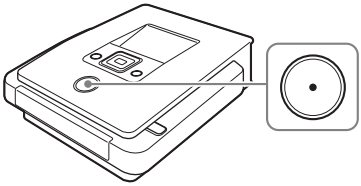
新しいディスクを入れると、以下の画面が表示されます（あらかじめ新しいディスクが挿入されていた場合は、手順 **5** の操作後に以下の画面が表示されます）。

録画を行うには、「OK」を選択してディスクをフォーマットしてください。フォーマットには数 10 秒かかります。

7 ビデオ機器を操作して、ビデオを再生する。

再生した映像が表示されます。

8 ⊙（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。



「録画中」と表示され、⊙（録画）ボタンが点灯します。

9 ⊙（停止）ボタンを押し、ダビングを停止する。

画面表示が変わるまでしばらくお待ちください。

10 ダビングを続ける場合は、手順 8 ～ 9 を繰り返す。

11 ダビングが終了したら、RETURNボタンを押しメニュー画面に戻る。

12 ⏏（開/閉）ボタンを押してディスクを取り出し、ファイナライズを行うか選ぶ（90 ページ）。

ファイナライズについて詳しくは、「ファイナライズとは？」（92 ページ）をご覧ください。

ダビングを一時停止するには

ダビング中に⊙（録画）ボタンを押します。再開するには、再び⊙（録画）ボタンを押します。

ビデオ機器をつないでダビングする場合のご注意

- ディスクを入れ、10 分以上放置してからダビングを開始すると、⊙（録画）ボタンを押してから実際に映像がディスクに記録されるまで、数秒ほど時間がかかります。ダビングする場合は、ディスクをいれた後すみやかにダビングを開始してください。
- ダビング中にビデオカメラの再生を停止すると、自動的にダビングを一時停止します。ビデオカメラの再生ボタンを押すと、ダビングを再開します。2 分間一時停止が続くと（ビデオの信号が検出されないと）、ダビングを停止します。
- ⊙（停止）ボタンを押しても、しばらくの間ディスクは回転し、回転音が聞こえます。

フォト DVD を作る

デジタルスチルカメラで撮影した写真を、メモリーカードから DVD へかんたんに保存できます。“ハンディカム”（HDD/DVD/“メモリースティック”/内蔵メモリー）で記録された写真も、DVD へダビングできます。スライドショー作成の機能を使えば、DVD プレーヤーで再生できるディスクを作ることができます。

ダビングの種類

2 種類のダビングモードを使って、フォト DVD を作成することができます。

まるごとダビング

“ハンディカム”のハードディスクや 8cmDVD、メモリーカードに保存されているすべての写真を、DVD へダビングします。

写真選択ダビング

シーン（写真）や撮影日を選択して、写真を DVD へダビングします。

シーン（写真）で選ぶ

画像を見ながら、ダビングしたい写真を選びます。

撮影日で選ぶ

撮影日から、ダビングしたい写真を選びます。

作成できるディスクについて - フォト DVD の種類

以下のようなフォト DVD を作成できます。

フォトバックアップ DVD
デジタルスチルカメラや“ハンディカム”で撮られた写真（JPEG ファイル）を保存したディスクのことです。フォトバックアップ DVD に保存した写真は、本機のディスプレイ上や DVD ドライブ搭載のパソコンで閲覧できます。また、JPEG ファイルの再生に対応する DVD プレーヤーなどでも閲覧できます。

スライドショーDVD
写真（JPEG ファイル）と、写真をもとに作られた映像を記録したディスクのことです。スライドショー DVD は、DVD プレーヤーなどの DVD 機器で再生できます。また、お好みの音楽をスライドショー再生時の BGM に設定することができます。

ヒント

- スライドショー DVD を、DVD プレーヤーなどで再生したときに得られる写真の画質は、ビデオ DVD と同等のものです。
- DVD ドライブ搭載のパソコンや JPEG ファイルの再生に対応する DVD プレーヤーなどで再生（JPEG ファイルの閲覧）すれば、フォトバックアップ DVD/ スライドショー DVD どちらでも、より高画質に写真を楽しむことができます。

フォト DVD の作成に関するご注意

- 1 枚のディスクに、最大 2000 枚までの写真を記録できます。
- 1 枚のディスクに、ビデオカメラからダビングした映像と写真を一緒に記録することはできません。

対応するメモリーカードと端子類について

写真が記録されている機器メディア / メモリーカードに応じて、本機の USB 端子またはメモリーカードスロットのいずれかを使用してください。

機器の種類	機器メディア メモリーカード	入力端子 / カードスロット			
		USB	MS Duo	マルチカード	CF
ソニー “ハンディカム”（HDD）	内蔵ハードディスク	✓			
	“メモリースティック デュオ”	✓	✓		
ソニー “ハンディカム” （メモリースティック）	“メモリースティック デュオ”	✓	✓		
ソニー “ハンディカム”（DVD）	8cmDVD	✓			
	“メモリースティック デュオ”	✓	✓		
ソニー “ハンディカム” （HDV/DV/D8）	“メモリースティック”			✓	
	“メモリースティック デュオ”		✓		
ソニー“サイバーショット”	“メモリースティック”			✓	
	“メモリースティック デュオ”		✓		
他社製デジタルスチルカメラ	SD カード			✓	
	xD- ピクチャーカード			✓	
	コンパクトフラッシュ				✓

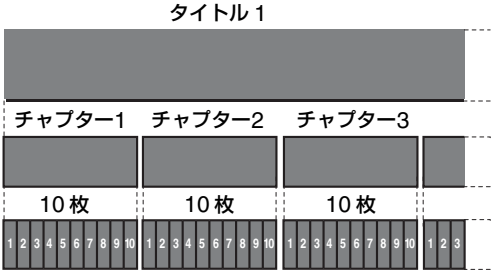
使用できるディスク

109 ページをご覧ください。

作成したフォト DVD について

スライドショーDVD

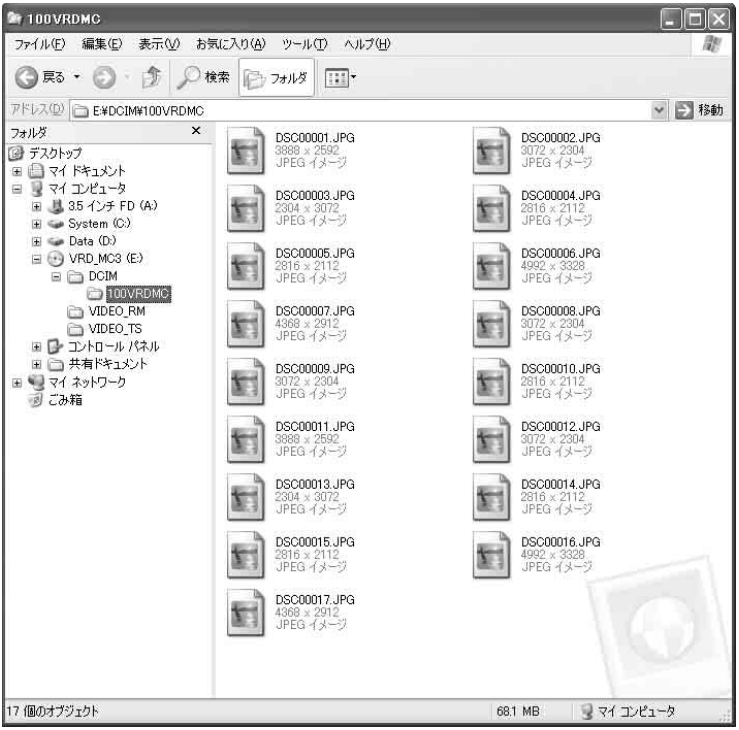
スライドショー DVD には、ビデオ DVD と同様に、タイトルやチャプターが作成されます（35 ページ）。ディスクに記録した写真は、10 枚ごとにチャプターで区切られます。また 1 タイトルには、最大 99 個までのチャプターを作成します。



スライドショー DVD には、本機に内蔵されている画像やお好みの写真を使用して DVD メニューを作成することができます（99 ページ）。また、音楽をスライドショー再生時の BGM として入れることもできます（100 ページ）。

写真(JPEG ファイル)の保存場所

フォト DVD には、いくつかのフォルダが作成され、その中の〔100VRDMC〕フォルダにすべての写真（JPEG ファイル）が保存されます。



ヒント

写真には、ディスクへ記録した順に新しいファイル名がつけられます。

メモリーカードや“ハンディカム”から写真をダビングする

HDD CAM　MS CAM　DVD CAM　Memory Card　Photo

ナビゲーションディスプレイ（18 ページ）から操作する場合は、以下の手順に従って操作してください。メニュー画面を表示している場合には、「メニュー画面からダビングするには」（88 ページ）の手順に従って操作してください。

1 **⏻（電源）ボタンを押して本機の電源を入れ、ディスクを挿入する（22 ページ）。**

ディスクの読み込みが始まります。

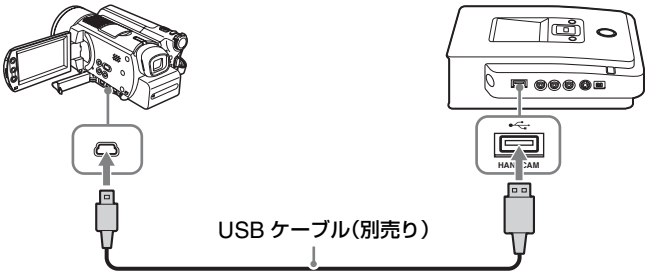
2 **メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入する（24 ページ）。または、“ハンディカム”を本機につなぐ。**

ご注意

“ハンディカム”（DVD）を使用する場合は、〔再生〕や〔見る / 編集〕モードに切り換えてください。

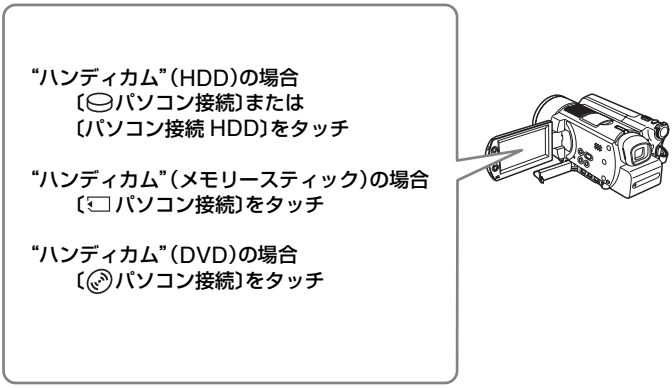
“ハンディカム”からダビングする場合

USB ケーブル（別売り）を使って、“ハンディカム”の USB 端子（タイプミニ B）を本機の USB 入力端子（タイプ A）につなぎます。



USB ケーブルをつなぐと、“ハンディカム”の液晶画面に［USB 機能選択］が表示されます。

“ハンディカム”の液晶表示画面で、写真が保存されているメディアを選び、タッチしてください。



本機の表示が変わります。

ご注意

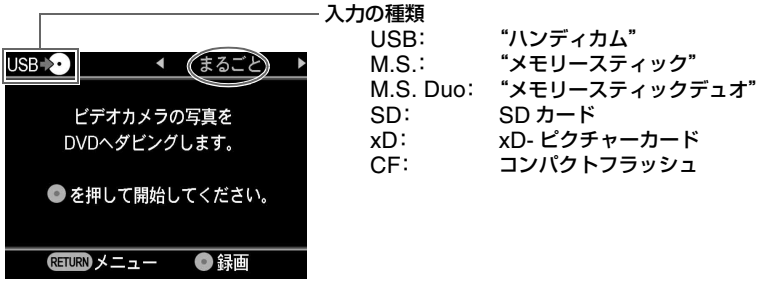
“ハンディカム”の機種によっては、〔USB 機能選択〕が表示されない場合や、画面上のボタンに表示される名称や絵が異なる場合があります。お使いの“ハンディカム”の取扱説明書をご覧のうえ、〔USB 機能選択〕を手動で表示させてください。またはパソコンへの接続と同じ操作方法で、本機との接続ができます。

3 ←/→ を押し、ダビングモードを選ぶ。

←/→ を押すと、画面右上の表示が切り換わります。

まるごとダビングするには

「まるごと」が表示されるまで ←/→ を押す。



写真選択ダビングするには

「写真選択」が表示されるまで ←/→ を押す。

↑/↓ を押して、「シーンで選ぶ」または「撮影日で選ぶ」を選びます。

シーン（写真）で選ぶ

現在の枚数 / すべての枚数

撮影日

現在選択している写真

チェックマーク

撮影日で選ぶ

チェックマーク

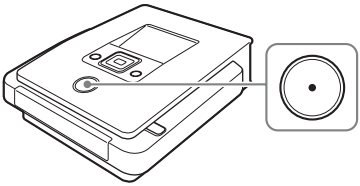
ダビングしたい写真または撮影日に、チェックマークを付けます。
チェックマークを付けるには、↑/↓/←/→ を押してダビングしたい写真または撮影日を選び、□（選択）ボタンを押します。□（選択）ボタンを繰り返し押すと、チェックマークを付けたりはずしたりできます。

写真を 1 枚表示に切り換えるには

「シーンで選ぶ」画面で、大きく表示させたい写真を選び、■（停止）ボタンを押します。

選んだ写真が大きく表示されます。
写真は、➡ を押すごとに右に 90 度回転、または ⬅ を押すごとに左に 90 度回転させることができます。

4 **（録画）ボタンを押し、ダビングを始める。**



ダビング中は「ディスクに記録しています」と表示され、（録画）ボタンが点灯します。

5 **ダビングが終了する。**

「完了しました。」と表示され、ダビングを自動的に終了します。

ディスクを取り出すには、⏏(開 / 閉)ボタンを押します(90 ページ)。
RETURN ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。

メニュー画面からダビングするには

メニュー画面を操作し、ダビングすることもできます。

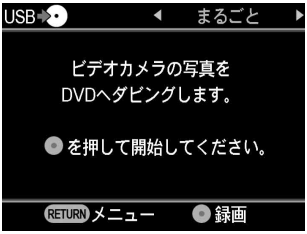
1 **RETURN(メニュー/ 戻る)ボタンを押し、メニュー画面を表示する。**

2 **↑/↓ を押して「写真 ➡ DVD」を選び、▭(選択)ボタンを押す。**

ヒント

本機の USB 端子に“ハンディカム”が接続されていると同時に、本機のメモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されている場合、入力を選択する画面が現れます。この場合は、↑/↓ を押して、ダビングしたい入力を選んでください。

3 ←/→ で画面右上のダビングモードを選ぶ。



4 85 ページの手順 3 ～ 5 にしたがって操作する。

作成したディスクを取り出す（ディスクをファイナライズする）

録画した後は、⏏（開 / 閉）ボタンを押してディスクを取り出します。このとき、あとでビデオや写真を追加できるようにディスクをそのまま取り出すか、またはディスクを完成（ファイナライズ）させるかを選ぶことができます。
ファイナライズについて詳しくは、「ファイナライズとは？」（92 ページ）をご覧ください。
フォト DVD の場合は、スライドショーを作成するかどうかを選ぶことができます。以下の手順に従って、目的に応じてディスクを取り出してください。

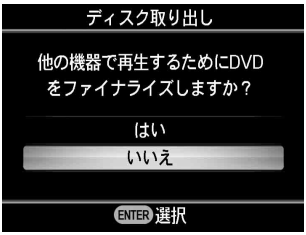
ヒント

以下の場合は、録画が完了するとディスクは自動的にファイナライズされます。

- AVCHD ディスクを作成したとき
- まるごとダビングでビデオ DVD を作成したとき
- 設定メニューで「スライドショー作成」を「オン」に設定してフォト DVD を作成したとき

1 ⏏(開 / 閉)ボタンを押す。

ファイナライズするかの確認画面が表示されます。



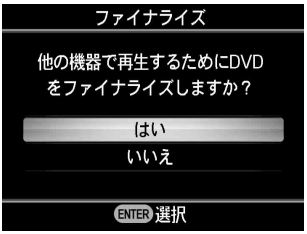
ヒント

ビデオを録画した DVD+RW ディスク（USB 端子に接続した“ハンディカム”からビデオをダビングした場合は除く）を使用した場合、この画面は表示されません。

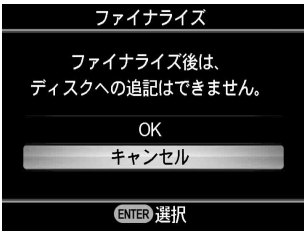
2 ディスクをファイナライズするか選ぶ。

ディスクをファイナライズする場合

「はい」を選び（選択）ボタンを押します。



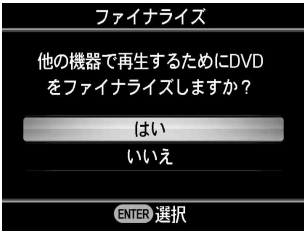
確認画面が表示されたら、「OK」を選び（選択）ボタンを押します。



ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。ビデオ DVD はこれで完成です。

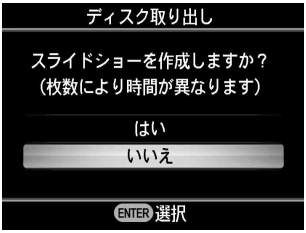
ディスクをファイナライズしない場合

「いいえ」を選び（選択）ボタンを押します。



ディスクトレイが開き、ディスクはファイナライズされずに取り出すことができます。

3 **写真をダビングしたディスクをファイナライズする場合、スライドショーを作成するか選ぶ。**



⬆/⬇ を押してスライドショーを作成するかを選び、▭（選択）ボタンを押します。
スライドショーDVD を作成しない場合（フォトバックアップ DVD を作成する場合）は「いいえ」を選びます。
スライドショーDVD を作成する場合は「はい」を選びます。

ヒント

かんたんにスライドショー DVD を作成するには設定メニューで「スライドショー作成」を「オン」に設定すると、⊙（録画）ボタンを押すだけでスライドショー DVD が作成できます（100 ページ）。

ご注意

フォトバックアップ DVD のファイナライズには、終了するまで数分かかります。スライドショー DVD のファイナライズには、さらに時間がかかります。かかる時間は写真の数や画質により異なります。（例えば、500 万画素相当の写真を 100 枚保存する場合、20 分以上かかる場合もあります。）

ファイナライズが終了すると、ディスクトレイが開きます。フォト DVD は、これで完成です。

ファイナライズとは？

「ファイナライズ」とは本機でダビングした DVD を他の DVD 再生機器で再生できるようにすることです。
録画した後にディスクを取り出そうとすると、ファイナライズするかどうかを確認する画面が表示されます。ファイナライズせずに取り出したディスクは、設定メニューからファイナライズを実行することができます。
一般には、ファイナライズによってディスクを完成させます。

ファイナライズしたディスクは、DVD ビデオや DVD-ROM と同じように DVD 機器で再生できます。
以下の例を参考に、ファイナライズするかしないかを選択してください。

ファイナライズする場合の用途

- 他の DVD プレーヤーや DVD レコーダーで再生する
- パソコンの DVD ドライブで再生する
- パソコンなどでディスクを複製して、他の人に渡す
- ビデオ DVD やフォト DVD として、完成したディスクを作る（これ以上ビデオや写真を追記しない）

ファイナライズしない場合の用途

- あとでビデオを追記する
- あとで写真を追記する

ヒント

ビデオを録画した DVD+RW ディスク（USB 端子へ接続した“ハンディカム”からのダビングを除く）を使用する場合、ファイナライズの必要はありません。ディスクを取り出すときファイナライズの確認画面は表示されません。設定メニューからファイナライズする必要もありません。このような DVD+RW ディスクにはいつでもビデオの追記ができます。また、ファイナライズをしなくても他の DVD プレーヤーやパソコンの DVD ドライブで再生できます。

作成したビデオ DVD やフォト DVD をプレビューする

本機で作成したビデオ DVD やフォト DVD を、本機の液晶画面で再生することができます。

ご注意

- 本機でのプレビュー中、音声は出ません。
- テレビなどの外部機器でプレビューはできません。
- AVCHD ディスクはプレビューできません。
- 本機以外で作成されたディスクや市販の DVD は再生できません。

1 **⏻(電源)ボタンを押し、本機の電源を入れる。**

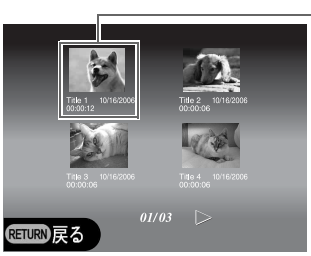
2 **RETURN ボタンを押し、メニュー画面を表示させる。↑/↓ で「DVD プレビュー」を選び、▭(選択)ボタンを押す。**

3 **本機で作成した DVD を挿入する。**

ディスクの読み込み終了後、映像が表示されます。

ファイナライズされたビデオ DVD を挿入した場合

DVD メニューが表示されます。↑/↓/←/→ を押し再生したいタイトルを選び、▭(選択) ボタンを押します。選択したタイトルが再生されます。再生を止める場合は、◉(停止) ボタンを押します。



ファイナライズされてないビデオ DVD を挿入した場合

DVD の最初のタイトルが自動で再生されます。

現在表示中のタイトル番号 / 合計タイトル数

←/→ を押してプレビューしたいタイトルを選びます。再生を止める場合は、◉（停止）ボタンを押します。

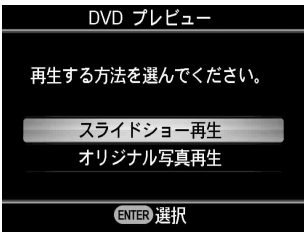
フォトバックアップ DVD やファイナライズしていないフォト DVD を挿入した場合

ディスクに記録された写真を、ひとつずつ手動で選びながら表示します。

↑/↓ を押して、閲覧したい写真を選びます。閲覧を終えるには、◉（停止）ボタンを押してください。

スライドショーDVD を挿入した場合

以下の画面が表示されます。↑/↓ を押して、最初に写真を再生する方法を選びます。



「スライドショー再生」を選ぶと、記録された写真を順番に再生します。ビデオ DVD の再生と同様に、DVD メニューでタイトルを選ぶと再生が始まります。

「オリジナル写真再生」を選ぶと、記録された写真を手動でひとつずつ選びながら閲覧することができます。フォトバックアップ DVD の再生と同じ操作で写真を見ることができます。

ヒント

- 本機の電源を入れた後すぐにファイナライズされた DVD を挿入した場合、ナビゲーションディスプレイ機能により、ビデオや写真の再生が自動で始まります。
- タイトルについて詳しくは、「作成したビデオ DVD と AVCHD ディスクについて」（35 ページ）、または「作成したフォト DVD について」（82 ページ）をご覧ください。

設定メニューを使う

設定メニュー画面を使って、本機の様々な設定を確認・変更できます。

ヒント

工場出荷時には、各表の下線で示した値に設定されています。

1 **⏻(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。**

2 **RETURN(メニュー/戻る)ボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

3 **↓を押して「設定」を選び、▭(選択)ボタンを押す。**

設定メニューが表示されます。

4 **↑/↓を押してカーソルを動かし、確認・変更したい項目を選び、▭(選択)ボタンを押す。**

設定を変更するときは、↑/↓を押して項目を選び、▭(選択)ボタンを押します。

録画画質

DV CAM　Video Device

ビデオ DVD を作成するときの画質を選びます。

画質モード	画質	録画可能時間（目安）	
		1 層ディスク	2 層ディスク
HQ	高	1 時間	2 時間
HSP	↑	1.5 時間	3 時間
SP	標準	2 時間	4 時間
LP	↑	3 時間	6 時間
SLP	低	6 時間	12 時間

自動停止タイマー

Video Device

ビデオ DVD を作成するときに、自動的に録画を停止する時間を選びます。

設定	機能
オフ	自動的に停止しない。
30 分～ 8 時間	録画開始後、設定した時間が経過すると、自動的に録画が停止します。30 分、60 分、90 分、2 時間、3 時間、4 時間、6 時間、8 時間から選びます。

ご注意

以下の場合、「自動停止タイマー」設定は解除されます。

- 録画が終了したとき
- 録画中に ■（停止）ボタンを押したとき
- 本機の電源を切ったとき

自動チャプター

DV CAM　Video Device

ビデオ DVD に自動で記録するチャプターの間隔を設定します。

設定	機能
オフ	チャプターで区切らない。
5 分	約 5 分間隔でチャプターを区切る。
10 分	約 10 分間隔でチャプターを区切る。
15 分	約 15 分間隔でチャプターを区切る。

DVD メニュー

HDD CAM　MS CAM　DVD CAM　DV CAM　Video Device　SD Video　Photo

本機で作成するビデオ DVD やスライドショー DVD に使う、DVD メニューの背景画像を選びます。

設定	機能
A、B、C、D	用意されている４種類の画像から選ぶ。
JPEG	お好みの写真を DVD メニューに使う。

JPEG ファイルを DVD メニューに使うには

「JPEG」を選ぶと、お気に入りの写真（JPEG ファイル）を DVD メニューの背景画像に使うことができます。
あらかじめパソコンなどを利用して、DVD メニューに使いたい写真（JPEG ファイル）を 1 枚だけ、メモリーカードの 1 番上の階層に入れておきます。ディスクの作成前に、そのメモリーカードを本機のカードスロットに入れておきます。

ご注意

- メモリーカードの 1 番上の階層には、写真（JPEG ファイル）を 1 枚だけ入れてください。写真が複数枚あると、目的の写真が DVD メニューに使用できない場合があります。
- JPEG ファイルによっては、使用できない場合があります。

スライドショーBGM

HDD CAM　MS CAM　DVD CAM　Memory Card　Photo

フォトDVD（スライドショーDVD）にバックグラウンド音楽（BGM）を入れるかどうかを選びます。

設定	機能
オフ	BGMを入れない。
オン	内蔵BGMを入れる。
MP3	お好みの曲をBGMに使う。

MP3ファイルをスライドショーの音楽に使うには

「MP3」を選ぶと、お気に入りの曲（MP3ファイル）を、スライドショーDVDのバックグランド音楽に使うことができます。
あらかじめパソコンなどを利用して、MP3ファイルを1つだけメモリーカードの1番上の階層に入れておきます。ディスクの作成前に、そのメモリーカードを本機のカードスロットに入れておきます。

ご注意

- メモリーカードの1番上の階層には、MP3ファイルを1つだけ入れてください。複数あると、目的の音楽が使用できない場合があります。
- 作成したスライドショーDVDを第三者に提供する場合は、内蔵BGMをご使用ください。
- MP3ファイルによっては、使用できない場合があります。

スライドショー作成

HDD CAM　MS CAM　DVD CAM　Memory Card　Photo

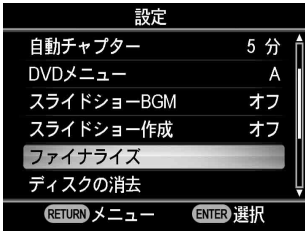
写真をディスクに保存したあと、自動でスライドショーを作るかどうかを選びます。

設定	機能
オフ	写真をディスクに保存したあと、自動でスライドショーを作らない。ディスクを取り出すときに、スライドショーを作るかどうかの確認画面が表示されます。
オン	写真をディスクに保存したあと、自動でスライドショーを作りファイナライズする。ディスクはすぐにDVDプレーヤーで再生できます。

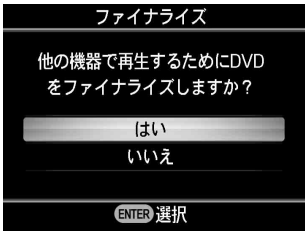
ファイナライズ

ファイナライズせずに取り出したディスクを、後でファイナライズすることができます。ファイナライズについて詳しくは、「ファイナライズとは？」（92 ページ）をご覧ください。

1 ファイナライズしたいディスクを入れ、↓で「ファイナライズ」を選び、□（選択）ボタンを押す。

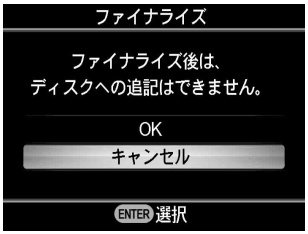


次の画面が表示されます。



2 ↑/↓で「はい」を選び、□（選択）ボタンを押す。

次の画面が表示されます。



3 **↑/↓ で「OK」を選び、▭（選択）ボタンを押す。**

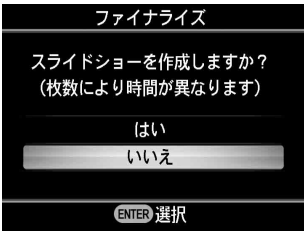
ファイナライズが始まります。

ビデオ DVD の場合

次の画面が表示されます。

フォト DVD の場合

次の画面が表示されます。



フォトバックアップ DVD にするときは、「いいえ」を選びます。
スライドショーDVD にするときは、「はい」を選びます。

ファイナライズが終わったら、ディスクを取り出すことができます。

ご注意

- ビデオ DVD やフォトバックアップ DVD のファイナライズには、数分かかります。
- スライドショー DVD のファイナライズには、数分から数 10 分かかります。

ディスクの消去

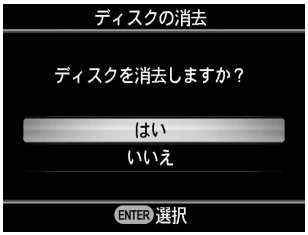
DVD-RW や DVD+RW に記録したすべての映像や写真を消去します。
ディスクは空きディスクとして再利用できます。

ご注意

この操作では、すべてのデータを消去するのでご注意下さい。

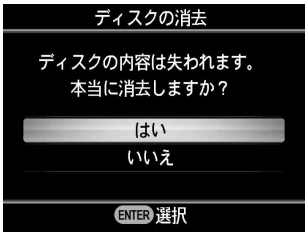
1 消去したいディスクを入れ、↓ で「ディスクの消去」を選び、□（選択）ボタンを押す。

次の画面が表示されます。



2 ↑/↓ で「はい」を選び、□（選択）ボタンを押す。

次の画面が表示されます。



3 ↑/↓ で「はい」を選び、□（選択）ボタンを押す。

ディスクの消去が始まります。
消去が終わったら、ディスクを取り出すことができます。

システム情報

本機のシステムソフトウェアのバージョンを確認できます。
⬇で「システム情報」を選び▭（選択）ボタンを押すと、画面にバージョン情報が表示されます。

ヒント

システムソフトウェアとは、本機を動作させる内蔵ソフトウェアです。

デモ

本機を一定時間操作しないと、デモが自動的に画面に表示されます。

設定	機能
オフ	デモを行わない。
オン	デモを行う。

カラーシステム

本機で作成するディスクのカラーシステムを設定します。

設定	機能
NTSC	NTSC カラーシステムで録画する。
PAL	PAL カラーシステムで録画する。

ご注意

- カラーシステムの設定は、通常は変更しないでください。日本国内では、NTSC に設定してご使用ください。
- 接続するデジタルビデオカメラのカラーシステムと、本機のカラーシステム設定が同じでないと、録画はできません。
- 再生に使用する DVD プレーヤーのカラーシステムと、本機でディスクを作成したときのカラーシステム設定が同じでないと、再生はできません。

言語（Language）

画面に表示する言語を選びます。

故障かな？と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、お使いの“ハンディカム”やビデオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

こんなときは

HD（ハイビジョン）画質で撮影した“ハンディカム”の映像をダビングして、SD（スタンダード）画質のDVDを作成するには？

→“ハンディカム”と本機を、AVケーブルやS映像ケーブル付きAVケーブルで接続してください（74ページ）。USBケーブルは使用できません。

入力を切り替えるには？（機器を接続した入力端子を選択するには？）

→ナビゲーションディスプレイ（18ページ）の状態では、接続した機器からの入力信号を検出して、自動的に入力端子を選択します。接続する機器の電源を入れ、ダビングの準備を行ってください。

→手動で入力端子を切り替えるには、メニュー画面（20ページ）から操作してください。

→HD（ハイビジョン）画質の映像をダビングするには「AVCHDダビング」を選び、「USB」（または「メモリーカード」）を選択します。SD（スタンダード）画質の映像をダビングするには「Video ➡ DVD」を選び、「VIDEO」「S-VIDEO」「DV」「USB」または「メモリーカード」を選択します（20ページ）。

電源について

電源が入らない

→電源プラグがしっかり差し込まれているか確認してください（21ページ）。

→電源プラグを抜き、接続されているビデオ機器やメモリーカードを外して、すべての操作を最初からやり直してください。

接続と操作について

“ハンディカム”をUSBケーブルで接続しても操作できない。

→対応するソニー製“ハンディカム”を使用しているかどうか確認してください。

→“ハンディカム”側で、USB接続の操作や設定が正しく行われているかどうか確認してください（“ハンディカム”側では、“ハンディカム”をパソコンに接続する場合と同じ操作を行ってください）。

→本機からUSBケーブルを抜き、本機と“ハンディカム”の電源を入れ直してから操作を行ってください。

→メニュー画面（20ページ）から操作する場合、HD（ハイビジョン）画質の映像をダビングするには

「AVCHD ダビング」を選び「USB」を選択してください。SD（スタンダード）画質の映像をダビングするには「ビデオ ➡ DVD」を選び「USB」を選択してください。

➔ナビゲーションディスプレイ（18 ページ）に沿って操作する場合は、“ハンディカム”に保存されている映像の種類によって本機の動作は異なります。ナビゲーションに従って操作してください。

“ハンディカム”を DV ケーブルで接続しても操作できない。

➔“ハンディカム”を [再生] モードに切り替えているかどうか確認してください。[撮影] モードではダビングできません（68 ページ）。

➔本機から DV ケーブルを抜き、本機と“ハンディカム”の電源を入れ直してから操作を行ってください。

本機の VIDEO IN または S-VIDEO IN 端子に接続したビデオ機器からの映像が、本機の画面上に映らない。

➔本機と接続している映像ケーブルが、ビデオ機器側の出力端子に接続されていることを確認してください。

➔ビデオ機器から映像信号が出力されていません。ビデオ機器の電源を入れ、必要な設定や再生などの操作を行ってください。

➔入力端子が正しく選択されているか確認してください。メニュー画面から「ビデオ ➡ DVD」を選択し、ビデオ機器を接続している入力（「S-VIDEO」または「VIDEO」）を選択します（74 ページ）。

再生について

作成したビデオ DVD やフォト DVD が、他の DVD 機器で再生できない。

➔ディスクがファイナライズされていない可能性があります。本機でディスクの「ファイナライズ」を行ってください（90 ページ）。

➔ディスクと DVD 機器の組み合わせによっては、正しく再生できない場合があります。

➔ご使用の DVD 機器が、作成したディスクの種類（DVD+R, DVD+RW、DVD+R DL, などの記録型ディスクの種類）に対応していない可能性があります。DVD 機器が対応する記録型ディスクの種類を確認してください。

➔フォトバックアップ DVD として作成した場合は、JPEG ファイルの再生に対応していない DVD プレーヤーなどの DVD 機器では再生できません（80 ページ）。

➔CPRM対応のDVD-RWおよびDVD-R に録画した映像は、CPRM に対応した機器でのみ再生できます（110 ページ）。

作成した AVCHD ディスクが他の DVD 機器で再生できない。

➔AVCHD ディスクは、一般の DVD 機器では再生できません。AVCHD ディスクは、AVCHD 規格の再生に対応する機器（ブルーレイディスクプレーヤー／レコーダーなど）で再生できます（30 ページ）。

フォト DVD（スライドショー DVD) を DVD 機器で再生した時、写真の画像が汚い。

➔スライドショー DVD を再生した場合の写真の画質は、一般的なビデオ再生の画質相当になります。JPEG ファイルの再生に対応している DVD プレーヤーなどで再生する場合は、JPEG ファイルの再生機能を使って DVD を再生すれば、より高品位な画質で写真を閲覧することができます（80 ページ）。

画面のメッセージについて

使用できないディスクです。本機で使用できるディスクを入れてください。

➔本機が対応していないディスクが挿入されています。対応するディスクを入れてください（109 ページ）。

➔他の機器で録画した DVD-RW や DVD+RW ディスクを挿入した場合、そのままでは使用できません。本機で「ディスクの消去」を行ってください（103 ページ）。

入力信号がありません。

➔ビデオ機器を接続した入力端子が、正しく選択されていない可能性があります。メニュー画面から、「ビデオ ➡ DVD」を選び、入力選択画面で機器を接続している入力端子を選んでください（20 ページ）。

➔接続したビデオ機器から映像信号が出力されていません。ビデオ機器の電源を入れ、必要な設定や再生などの操作を行ってください。

➔ビデオ機器側の出力端子に、本機が接続されていることを確認してください。

➔接続を外して、本機やビデオ機器の電源を入れなおし、すべての操作を最初からやり直してください。

この製品で作成されたディスクを入れてください。

➔他の DVD 機器で作成したディスクが挿入されています (他の DVD 機器で作成したディスクにビデオや写真を追記することはできません)。

選択された操作では、このディスクに記録することができません。

➔ダビングの種類によっては、使用できるディスクの種類や追記できるディスクの種類が異なります（109 ページ）。ダビングできない組み合わせの場合に、この画面が現れます。（例えば、DVD+R DL ディスクを使用して、USB 端子経由で“ハンディカム”からビデオをダビングしようとした時など）

ビデオカメラを USB 接続に設定してください。

➔本機が対応するソニー製“ハンディカム”を検出しましたが、“ハンディカム”側の USB 接続設定や準備が正しく行われていない可能性があります。“ハンディカム”側で、“ハンディカム”をパソコンに接続する時と同じ操作を行ってください。

未対応の USB 機器です。対応するビデオカメラを接続してください。

➔USB 端子に、本機が対応していない USB 機器が接続されています。

ビデオカメラの USB 速度設定を“自動”に設定してください。

➔本機が対応するソニー製“ハンディカム”を検出しましたが、“ハンディカム”側の［USB 速度設定］が、［自動］以外に設定されています。“ハンディカム”側で、設定を［自動］に変更してください（32 ページ）。

ビデオカメラにダビングできるビデオまたは写真がありません。

➔ダビング元となる、“ハンディカム”またはメモリーカードに、ダビングできるビデオや写真が入っていません。

ビデオカメラにダビングできるビデオがありません。

➔“ハンディカム”またはメモリーカードに、ダビングできるビデオが入っていません。

➔“ハンディカム”に HD（ハイビジョン）画質の映像のみ録画されている時に、メニュー画面で「ビデオ ➡ DVD」を選択して操作を進めた可能性があります。HD 画質の映像をダビングするには、メニュー画面で「AVCHD ダビング」を選択してください（20 ページ）。

ビデオカメラにダビングできる写真がありません。

➔ダビング元となる“ハンディカム”またはメモリーカードに、ダビングできる写真が入っていません。

ビデオカメラのエラーです。

➔ビデオカメラと本機の接続（USB ケーブル）が外れた、またはビデオカメラ側の電源が切れた可能性があります。確認してください。

➔“ハンディカム”のメモリースティックスロットに、ダビングに対応していない“メモリースティックデュオ”が挿入されています（例：“ハンディカム”以外の機器で撮影した“メモリースティックデュオ”、パソコンを使って映像を保存した“メモリースティックデュオ”など）。

メモリーカードのエラーです。

➔ダビングに対応していない“メモリースティックデュオ”やメモリーカードが、本機に挿入されています（例：“ハンディカム”以外のビデオカメラで撮影したメモリーカード、など）。

システムエラーです。

➔このエラーが繰り返し発生するような場合は、故障の可能性があります。

ディスクについて

使用できるディスク

本機では、以下のディスクに記録できます。ただしすべてのディスク・製造元の動作を保証するものではありません。

ディスクの種類	マーク	ビデオ DVD 作成	フォト DVD 作成 / AVCHD ディスク作成
DVD+R	RW DVD+R	✓	✓
DVD+R DL（2 層）	RW DVD+R DL	✓*	
DVD+RW	RW DVD+ReWritable	✓	✓
DVD+RW 高速書き込み対応	RW DVD+ReWritable High Speed	✓	✓
DVD-R	DVD R	✓	✓
DVD-R DL（2 層）	DVD R RDL		
DVD-RW	DVD RW	✓	✓

* DV IN / VIDEO IN / S-VIDEO IN 端子からのビデオ録画のみ対応

ご注意

DVD-R DL（2 層）、CD-R、CD-RW、また 8cm ディスクは使用できません。

ディスクに関するご注意

- 前回録画してまだファイナライズしていないディスクに映像を追加録画するときには、前回の録画時と同じ接続端子を使って、本機とビデオ機器を接続してください。例えば、“ハンディカム”（DVD）を USB ケーブルで本機と接続して録画した場合、このディスクに VIDEO IN 端子や S VIDEO IN 端子に接続したビデオ機器の映像を追加録画することはできません。
- パソコンや他のビデオ機器で作成されたディスクに追加録画することはできません。
- ハイビジョン画質の映像をダビングするときは、常に新しいディスクを使ってください。すでに録画されている AVCHD ディスクにハイビジョン画質の映像を追加録画することはできません。
- 市販の記録型ディスクの中には、規格上の品質や性能を満足しない製品があります。そのようなディスクを使用した場合、正常に記録できない場合があります。
- 記録済みのディスクは、傷や汚れ、また記録状態や再生機器、再生ソフトの特性などにより、再生できない場合があります。また、ファイナライズしていないディスク は再生できません。
- CPRM 対応の DVD-RW および DVD-R に録画した映像は、CPRM に対応した機器でのみ再生できます。

メモリーカードについて

“メモリースティック”について

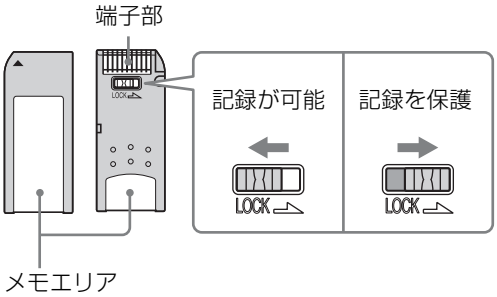
本機では下記の“メモリースティック”が使用できます。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	読み込み
メモリースティック	○
メモリースティック （マジックゲート / 高速データ転送対応）	○ *1
メモリースティック デュオ	○
メモリースティック デュオ （マジックゲート / 高速データ転送対応）	○ *1
マジックゲート メモリースティック	○ *1
マジックゲート メモリースティック デュオ	○ *1
メモリースティック PRO	○ *1
メモリースティック PRO デュオ	○ *1*2
メモリースティック PRO-HG デュオ	○ *1*3

*1 本機ではマジックゲート機能を使ったデータは読み込みできません。
*2 8GB までのソニー製“メモリースティック PRO デュオ”で動作確認を行っています。
*3 8GB までのソニー製“メモリースティック PRO-HG デュオ”で動作確認を行っています。

使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを先の細いものでスライドさせ LOCK にすると、データを記録、編集、消去できなくなります。



- “メモリースティック”はメモリーカードスロットに、“メモリースティック デュオ”は、メモリースティックデュオスロットに入れてください。“メモリースティック デュオ”を、メモリースティックデュオアダプターを使用してメモリーカードスロットに入れると、誤動作する場合があります。
- 各種カードアダプターを使用した場合の動作は保証いたしません。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチは、先の細いもので動かしてください。
- “メモリースティック”を初期化するときは、ご使用のデジタルスチルカメラや“ハンディカム”で初期化してください。パソコンで初期化した“メモリースティック”は、動作を保証いたしません。
- 誤消去防止スイッチの形状・位置はお使いの“メモリースティック”により異なります。
- データにアクセス中は、“メモリースティック”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破損する場合があります。
  - データを読み込み中に、“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った。
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で、“メモリースティック”を使った。

SD カード /xD- ピクチャーカード / コンパクトフラッシュについて

本機では下記のメモリーカードをご使用になれます。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

- SD メモリーカード *1
- SDHC メモリーカード *2
- xD- ピクチャーカード
- コンパクトフラッシュ（Type I / Type II）、または CF+ カード（Type I / Type II）準拠のコンパクトフラッシュ *3

*1 2GB までの SD カードで動作確認を行っています。
*2 4GB までの SDHC カードで動作確認を行っています。
*3 コンパクトフラッシュカードは、電源仕様が 3.3V あるいは、3.3V/5V のものをお使いください。5V 専用、または 3V 専用のタイプは、お使いになれません。対応以外のカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。

使用上のご注意

- 市販の各カードアダプターを使用した場合の動作は保証いたしません。
- 特に金属製のカードアダプターは使用しないでください。誤動作の原因となります。
- 著作権保護技術が必要なデータの読み込みはできません。

使用上のご注意

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

輸送について

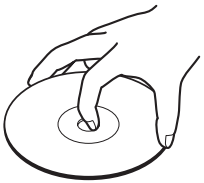
本機を単独で輸送する場合は、お買い上げ時の梱包箱を使用してください。本機を移動するときは、その前に必ずディスクを取り出してください。

結露現象について

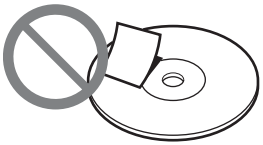
急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。使用中に急激に温度が変化した場合は、電源を入れたまま使用を中止して 1 時間以上待ち、それから電源を切ってください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは外縁を支えるようにして持ちます。記録面に触れないでください。



- ディスクに紙などを貼ったりしないでください。



- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房機具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 記録用ディスクは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- 記録用ディスクの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

メモリーカードの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など、気温が高い場所
  - 直射日光があたる場所
  - 湿気の多い場所
  - 腐食性のものがある場所
  - ほこりが多い場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響がある場所
  - 磁気の影響がある場所
- 持ち運びや保管の際は、カードに付属の収納ケースに入れてください。
- 本機でカードを使用中に、カードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。データの読み込みができなくなる場合があります。

主な仕様

動画記録

作成できるディスク

- ビデオ DVD（DVD プレーヤー / レコーダーまたは DVD ドライブ搭載のパソコンで再生可能）
- AVCHD ディスク *（AVCHD 規格に対応したブルーレイディスクプレーヤー / レコーダーまたは“プレイステーション 3”で再生可能）

* ソニーハイビジョン“ハンディカム”（HDD/ メモリースティック）

対応入力機器

- 音声出力・映像出力のあるビデオ機器
- ソニー“ハンディカム”（DV/ Digital8）または DV 規格のデジタルビデオカメラ
- ソニー“ハンディカム”（HDD/ DVD/ メモリースティック）

静止画記録

作成できるディスク

- スライドショー DVD（DVD プレーヤー / レコーダーまたは DVD ドライブ搭載のパソコンで再生可能）
- フォトバックアップ DVD（DVD ドライブ搭載のパソコン、または JPEG 画像ファイル対応の DVD プレーヤー / レコーダーで再生可能）

対応入力機器

- “メモリースティック デュオ”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、xD- ピクチャーカード、コンパクトフラッシュ
- ソニー“ハンディカム”（HDD/ DVD/ メモリースティック）

対応静止画形式

JPEG、DCF2.0 準拠

ビデオ・写真のプレビュー

本機液晶画面で再生 *

* 本機で作成したフォト DVD、ビデオ DVD のみ

記録できるディスク

DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R DL*

* DV IN / VIDEO IN / S-VIDEO IN 端子からのビデオ録画のみ対応

12cm ディスク

インターフェース

DV IN*1

4 ピン、i.LINK（IEEE1394）、S100, DVC-SD 入力

VIDEO 入力

1 Vp-p/75 Ω

S VIDEO 入力

Y：1 Vp-p/75 Ω
C：0.286 Vp-p/75 Ω

AUDIO 入力

2 Vrms（入力インピーダンス：47 kΩ 以上）

メモリーカードスロット

メモリースティック デュオ、メモリースティック *2、SD メモリーカード *2、xD- ピクチャーカード *2、コンパクトフラッシュ

USB ポート

タイプ A*3

*1 DV 規格デジタルビデオカメラからの DV 入力のみ。MICROMV または HDV“ハンディカム”（HDV 形式）、あるいは他の i.LINK 端子付デジタルビデオ機器からは録画できません。
*2 マルチカードスロット
*3 ソニー“ハンディカム”(HDD/DVD/ メモリースティック)

電源部、その他

電源

DC 12 V（DC IN 端子）

消費電力

30W

AC アダプター*　AC-NB12A

電源：AC 100V − 240 V
定格出力：DC 12 V/2.5 A

* ご使用の国や地域に適した電源コードを使用してください。

外形寸法 *

約 193 × 65 × 222.5 mm（幅×高さ×奥行き）

* 最大突起物含まず

本体質量

約 1.5 kg

許容動作温度

5 ℃～ 35 ℃

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口、お客様ご相談センターへご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：VRD-MC5
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

部品の保有期間について

当社では、DVD ライターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で外部メディアなどに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で外部メディアの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、外部メディア、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

下記の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

指定の AC アダプター以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ディスクトレイの開閉時、手をふれない

禁止

ディスクトレイが開閉する際に、手をはさまれないようにご注意ください。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置、取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

接触禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります

本機や AC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

禁止

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

索引

五十音順

え
映像選択ダビング 28
　撮影日で選ぶ 49, 60
　シーンで選ぶ 49, 60

か
「カラーシステム」104

け
「言語（Language）」104

こ
コンパクトフラッシュ 24, 81, 113

し
「システム情報」104
「自動チャプター」99
「自動停止タイマー」98
写真選択ダビング
　撮影日で選ぶ 79, 86
　シーンで選ぶ 79, 86

す
スタンダード画質 7, 29
「スライドショー作成」100
「スライドショー BGM」100
スライドショー DVD 80, 82

せ
設定 97

つ
つづきダビング 27, 46, 56

て
ディスク
　使用できるディスク 33, 82, 109
　挿入する 22
「ディスクの消去」103
「デモ」104

な
ナビゲーションディスプレイ 18

は
ハイビジョン画質 7, 29
ハイブリッド“ハンディカム”7

ひ
ビデオ DVD 6, 25, 29, 35
ひとまとめダビング 27, 66

ふ
「ファイナライズ」101
ファイナライズ 90
フォーマット 23
フォトバックアップ DVD 80
フォト DVD 6, 79, 82
プレイリストダビング 28, 48, 58

ま
マニュアルダビング 28, 72
まるごとダビング 25, 44, 55, 65, 70, 79

め
メニュー
　写真 ➡ DVD 20
　設定 20
　ビデオ ➡ DVD 20
　AVCHD ダビング 20
　DVD プレビュー 20
メモリーカード 24, 81
“メモリースティック” 24, 81, 111
“メモリースティックデュオ” 24, 81

ろ
「録画画質」98

わ
ワンタッチダビング 25, 37

記号・アルファベット

Numerics
8cmDVD 27, 66, 81

A
AV ケーブル 74
AVCHD ダビング 6
AVCHD ディスク 25, 29, 35

C
CPRM 110

D
DVD プレビュー 94
「DVD メニュー」99
DVD メニュー 35
DV（i.LINK）ケーブル 68

H
HDD 37, 40

J

JPEG ファイル 83, 99

M

MP3 ファイル 100

S

S ビデオケーブル 75
SD カード 24, 81, 113
S-VIDEO 76

U

USB 64
USB ケーブル 37, 40, 62, 84

V

VIDEO 76

X

xD- ピクチャーカード 24, 81, 113

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル …… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX …… 0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

P/N 7819901999

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

Printed in China

http://www.sony.co.jp/